

山形縣地誌提要
下

ル 4
698
2





山形縣地誌提要下

明治三十二年六月八日

依藤啓

兵部贈

置賜郡

中川駿太郎 閱

羽前國ノ南部ニ位シ、北ハ村山郡ニ隣ト、西北ノ

一隅、朝日嶽ヲ以テ、田川郡ヲ限レリ、東南ハ、陸前

國、前田郡ト、岩代國、耶麻、信夫ニ郡ニ連ル、其國界

ニ蟠マル、山岳、東ニ龍ヶ岳、栗子山古名、杭甲家形山有

リ、南ニ吾妻嶽、檜原山、七ッ森、地藏岳有リ、西ニ亦大

山形縣地誌提要下

月 台 局

津久井 遠校訂
荒井太四郎 編輯

峠尾、打峠、飯豊山等ノ峻嶺ヲ以テ、越後國、磐船、蒲原ノ二郡ニ接ス、地勢南高ク、北低シ、縣川松川ハ、吾妻嶽ニ發シ、郡ノ諸水ヲ合セテ、北流セリ、旧時ハ七郷ニ分ツ、上長井、中郡、北條、下長井、東通、下長井、西通、小國、屋代、是ナリ、西南部ハ、山地ニシテ、東北部ハ、稍平地多シ、東西九十八九里、南北九十四五里、米澤ノ地位ハ、南部ニ属セリ、氣候、西南部ハ、氷針、寒十八九度、暑八十四五度、積雪一丈ヨリ二丈ニ及ブ、東北部ハ、寒二十度、暑九十度、雪ハ八尺ヨリ、一丈ニ至ル

合 舊反別、三万三千貳百八拾四町零四畝廿六步七
草高、三拾三万七千貳百四拾石九斗壹升五合
耕宅地、現反別、貳万九千六百九拾町四反壹畝貳拾貳步壹合、地價金、七百零六万零百五拾三圓三拾九錢八厘
山林原野、現反別、拾万九千三百四拾七町壹畝八步七合、地價金、三拾六万貳千七百七拾四圓零壹錢
市街、百三十三、村落、二百九十五、戶數、二万六千六

山形縣志提要下

月台閣

百五十一戶、人負十五萬五千五百十九人、男七萬七千二百九十九人、女七萬九千九百九十九人

學區廿番中學區、英語學校一、中學校一、傳習學校

一、女學校、一小學校、百十六、教員三百六十五人、生

徒一萬零百四十一人、男八千九百二十九人、女一千一百一十二人

牛二千四百四頭、牝五百三十五、牡九百九、馬七千四百

八十一頭、牝三千二百三十九、牡二千九十九

舟、川小船三、車、馬車一、人力車、三百六十六

郵便局所在、米沢、関根、下板谷、糠目、大橋、赤湯、小岩

船渡、足水、玉川、南原、綱木、小野川、口田、沢、王庭、桐原、吉田、大塚、伊佐、沢、今泉、椿、萩、生、小出、草岡、高玉、山口

鮎貝、石那田、淺立、宮崎、砂塚、官内、上、萩、東山、高畑、上、原

普通物産、米、大麥、小麥、粟、黍、稗、大豆、蕎麥、蜀黍、玉蜀

黍、甘薯、馬鈴薯

特有物産、實綿、麻、青苧、繭、種紙、真綿、生糸、節糸、糸織

紬、數寄屋織、藍、茶、漆、楮皮、葉烟草、菜種、荏種、紙、人參

薄荷、蘭、茸類、獨活、狗脊、蕨、鯉、鰻、鮎、鮎、魚、鮎、鱒、鮎、蜂

蜜、筆、將、棊、駒

米澤、八、縣下屈指ノ都會ナリ、山形ノ南、十二里五

町、四十九間半ニ在リ、東西一里四町、南北三十三

町、二十四間、市街百三十三、戶數五千六百十五戶

人口、二万九千八百八十八人、男、一万四千三百九十七人、女、一万四千九百一十一人

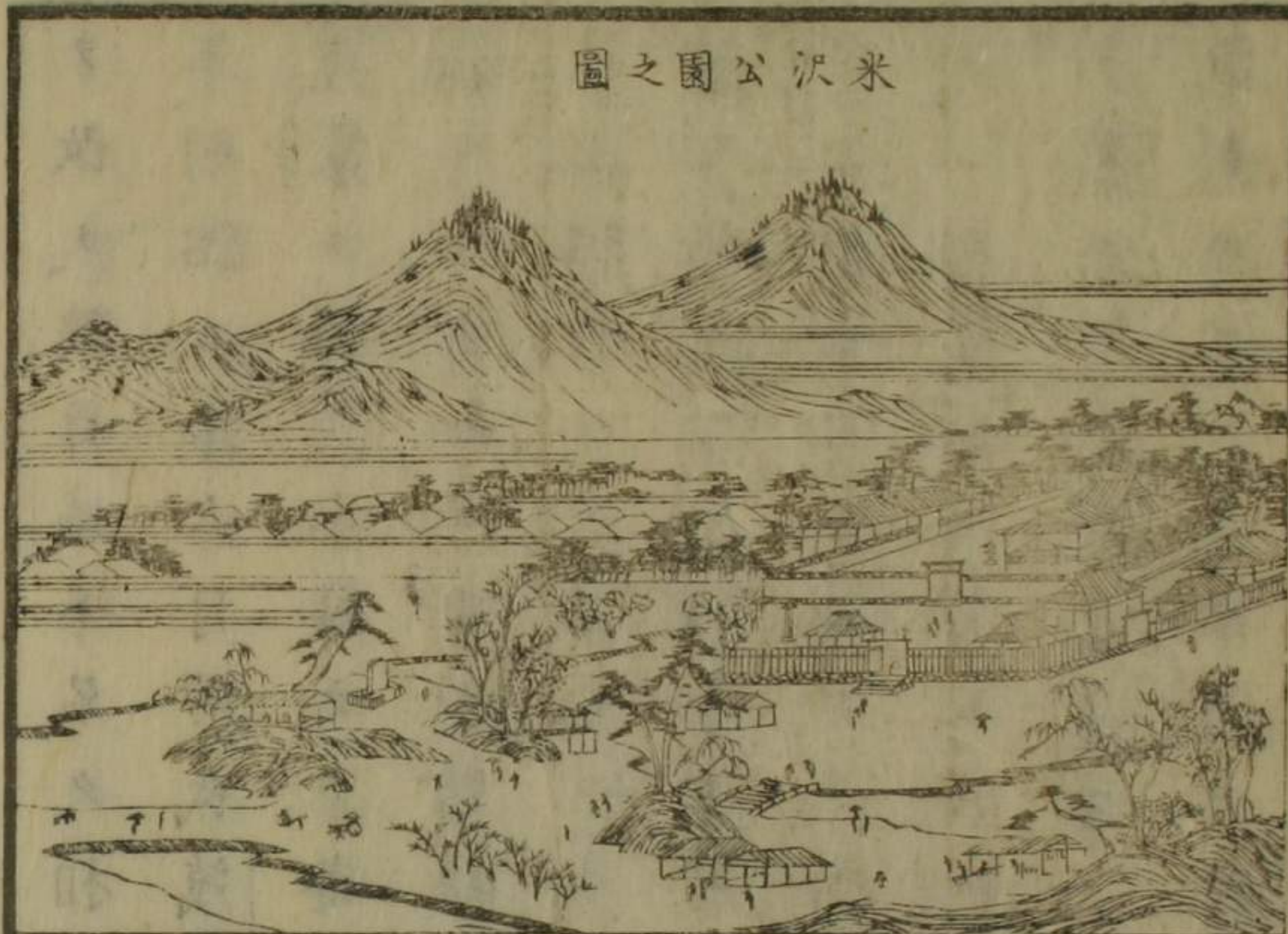
英學校、教員三人、生徒、男三十四人、中學校、教員四人、生徒、男百七人、傳習校、教員二人、生徒、男五十七人、女學校、教員五人、男三人生徒、女百四人、皆門東町ニ在リ、其他小學校十ヶ所ニ設ク、教員七十四人、生徒、千九百七十九人、男、千五百七十二人、女、四百零七人、町坊縦横、物品充積、旅館娼家、飲食雜店、各所交錯ス、溝渕ハ、道ノ中真ヲ通シ、街燈ハ、人ノ微行ヲ照ス、桐町、立町、大町等、尤主眼ノ街衢トス、衞街ハ、多

ク工業ノ者住シ、旧郭内ハ、機杼ノ聲連接ス、所謂糸織ヲ製スルナリ、習俗ハ、大抵勉強力有リテ、奢靡ノ風鮮ナシ、館山片町ニ、製糸場有リ、水車器械ニシテ、明治十年創築ス、其水道造構、一ノ佳美ナリ、福島裁製所、米沢支廳ハ、北堀端ニ在リ、區裁判所、其構内ニ置ケリ、警察署ハ、大町ニ在リ、南本郡役所ハ、門東町上ノ町ニ在リ、警察分署ハ、桐町ニ在リ、交番所ハ、御廟町、東町ノ二ヶ所ニ在リ、監獄署、監倉署ハ、清水町ニ在リ、電信局、郵便局ハ、立町ニ

在リ、郵便ハ、金貨為換ノ、取扱ヲ為セリ
 米澤城ハ、原松カ寄ト名ケ、又鶴舞ト称ス、市街ノ
 西ニ在リ、四條帝、歷仁元年、源右府ノ臣、長井左衛
 門尉、大江時廣、建築ス、後小松帝、至德年中、岡氏七
 世孫、出羽守廣房ニ至テ、伊達正宗ニ滅サル、伊達
 氏、其門族ヲシテ居ラシム、天正十八年、豊太閣、伊
 達氏ヲ奥州ニ遷シ、置賜郡ヲ蒲生氏郷一與ヘ、其
 門族之ニ居ル、蒲生氏野州轉封ノ後、上杉氏、替テ
 之ヲ領シ、慶長三年、長臣直江氏ヲ居ク、同六年上
 杉氏、會津ヨリ移リ、城ノ外郭ヲ經營シテ、松カ寄

ヲ改テ、鶴舞城ト名ク、相傳ル十三世、二百六十餘
 年、明治二年六月、岡氏茂憲、土地人民ヲ奉還シテ、
 東京ニ移リ、尔後之ヲ廢ス、六年十月、城郭悉ク破
 毀ス、七年九月、公園偕樂ノ地ト為レリ
 上杉神社ハ、公園地ニ在リ、謙信、治憲ノ二靈ヲ合
 祭ス、明治五年、神号ヲ定メ、縣社トス、謙信ノ英武、
 人ノ熟知スル所ナリ、治憲ハ、謙信、十世ノ孫ニシ
 テ、一ニ、鷹山ト号ス、日向、高鍋ノ城主、秋月種美ノ
 四男ナリ、上杉重定、養フテ嗣ト為セリ、上杉氏ノ
 創封セラレテ、米沢ニ移ルヤ、藩士ヲ撫養シテ、咸

米沢公國之圖



散セズ、為メニ貯蓄殆ト
 尽ク、鷹山氏封ヲ襲フニ
 及レテ、節儉ヲ躬ニシ、冗
 費ヲ省キ、文學ヲ興シ、耕
 織ヲ勸メ、治國富民ノ要
 始メテ緒ニ就ク、老臣莅
 戸、儒臣神保ノ二氏、參與
 シテ巧有リ、此地今ニ至
 テ、織任ノ盛ナル、輸出モ
 亦夥シ、皆旧藩士ノ手業

ニシテ、實ニ鷹山氏ノ遠圖ニ出ツ、其社ニ、合祀セ
 ラル、ヤ宜ナリ

馬口勞町一宮神社、明神堂町白子神社、共ニ郷社
 タリ

林泉寺町ノ林泉寺、越後春日山ヨリ、移セシ巨
 刹ナリ、其他東寺町ノ極樂寺、日朝寺、北寺町ノ長
 命寺、御廟町ノ法音寺等、皆巨刹タリ

山上村、字、矢沢ニ、銀礦有リ、共有地タリ、明治六年
 發見ス、全年三月ヨリ、千葉縣士族武野氏試鑿ノ
 處、現今借區營業セリ

板谷駅ハ、福島縣下ニ通ズルノ、路線ニ當レリ、五色湯有リ、新古ニケ、所、泉質ハ、共ニ剝篤亞斯ナリ、婦人、月經不順、或ハ、酸敗症ヲ治ス、又滑川湯有リ、泉質明礬トス、脚氣、金瘡等、ニ功有リ、姥湯ハ、泉質明礬、綠礬混ス、腸胃衰弱病ニ適ス、此地ハ、板谷ニ属シテ、不忘山ノ北谷ニ方レリ、天文中、板谷ノ人、大藏ト云フ者、山ニ入テ途ニ迷フ、溪間ニ、老婆有リ、之ニ問フテ、歸路ヲ得タリ、老婆、又浴湯ヲ惠ム、大藏為、ニ終日ノ疲勞ヲ癒シ、身体快爽ヲ覺フ、後温泉ヲ開クニ至ル、因テ姥湯ニ稱

有リト云、此境溪深ク、樹繁リ、間々開豁ノ處有リ、テ、峯巒遠近、幽趣、殆ンド画ク可ラズ、真ニ仙境ト曰フモ可ナリ、名勝ノ一ニ居レリ、瀑布有リ、布引滝、高六十三丈、幅四尺、大滝、高廿丈、幅十間、共ニ前川ニ注グ、三階滝、高十丈、幅二間、前川ノ源トス、ハ、木、南、西、十五、六、里、前川ハ、大日岳ヨリ、癸ニ、溪間ヲ東流シテ、岩代ニ出ワ、米沢ノ東、松川北流シ、今町、花沢村ノ間ニ、橋ヲ改作シテ、相生橋ト名ク、此地、芍安ノ新道ニ當レリ

花沢村ニ、八木橋堰、及ビ佐氏泉ノ旧蹟ヲ存セリ、
 御館五郎基衡ノ子、佐藤莊司常信、八木橋ノ莊ニ
 占居ス、常信ノ三男繼信、源廷尉ニ從テ、八島ニ
 戦死ス、四男忠信モ、亦義経ノ臣タリ、堀河ニ戦死
 ス、佐氏泉ハ、八木橋ノ南西、十五六町ニ在リ、蒼松
 數株、冷泉ヲ圍繞シ、其境頗ル清爽ナリ、遊人羣ヲ
 為シテ、避暑ノ佳域トス、即常信ノ庭地ナリ、名勝
 ノ一ニシテ、公園地タリ、西南ニ、常信庵有リ、庵境
 内ニ、石碑三有リ、三社ト称ス、常信及ビ繼信、忠信
 ヲ祭ルト云、又泉水ノ西ニ、月見山有リ、佐氏望月

亭ノ跡ナリ、云ヘリ
 梓山村、原野ニ有リ、牛森原、
 東西四町、南北二町、大石原、
 東西六町、南北二町、牛森原、
 ニ古戰場有リ、原頭古墳ニ
 三ヲ存ス、之ヲ穿テハ皆白
 骨ナリ、延寶六年、花沢村ノ
 住民、石坂源七ト云フ者、牛
 森ノ畑畔ニ、大石有ルヲ見
 人ヲ會シテ之ヲ穿ツ、丈餘

相生橋夜景



山形縣地誌是要下

月台閣

ニシテ、石櫃ヲ得タリ、内ニ大ナル髑髏一、砂鉢様ノ者ニ、太刀二十本、七首矢鏃、數百ヲ藏ス、皆最古ノ器物ナリ、日本記ヲ按スルニ、桓武、嵯峨ノ朝、東奥屢叛ス、古佐美、坂上等、擊テ之ヲ誅スト有リ、或ハ諛時ノ遺物ナラン、一説ニ、安部頼時ノ髑髏ト曰フ、又此地ヲ源義家ノ古戰場トモ云ハリ

蒔安村、栗子ノ山中、崑石ヲ鑿テ、隧道ヲ作ル、三十間、溪澗ヲ横絶シテ、所々橋ヲ架シ、道路ヲ開鑿ス、米沢ヨリ、四里六町餘、栗子山トス、其崖壁、直立七千尺、又隧道ヲ作ル、八丁、而シテ、岩代國、湯野

村ニ通ズ、之ヲ蒔安新道ト稱ス、此地板谷越、北ニ方レリ、明治十年起業ス、成功迄キニ在リ

栗子山ノ脉、浪前ニ蒔安山有リ、北ニ亘ルヲ、赤黒、小黒、本宮、烏居沢、龍カ岳等ノ諸山、屏列シテ、岩代ノ國境ヲ限レリ

羽黒川ハ、栗子山ヨリ出テ、西北流シ、小黒川ハ、小黒山ニ糞シテ北流シ、共ニ松川ニ入ル

大平村ニ、吾妻湯新古有リ、古ハ泉質明礬トス、切創ニ宜シ、新ハ泉質銀氣ナリ、上衝眼疾ニ宜シ、又瀑布有リ、巴滝高六丈幅七尺、巖急滝高六丈幅四

尺相生滝高三丈幅三間、火酸滝高二十丈幅十間、
燕滝高六丈幅八間、共ニ松川ノ上流ニ注グ

関村ニ温泉三所有リ、高湯ト曰フ泉質胆礬、上衝
眼疾ニ宜シ、又

瀑布有リ、潜龍

滝ト曰フ、高七

丈二尺幅一間

半、大樽川ノ上

流ニ注グ

吾孺山又吾妻



吾妻温泉
相生之滝

山ニ作ル、一ニ不忘山ト名ク、二國羽前郡置賜

ニ跨リ、本郡東南部ノ高山トス、其最高ノ處四有

リ、東大巔中大巔、西大巔、大日嶽是ナリ、而シテ大

日ヲ伯トス、姥湯ヨリ、東大巔マテ四里、高湯ヨリ、

西大巔マテ亦四里、直立九一里、奇木異草ハ、其名

ヲ知ラザル多ク、珍禽怪獸ハ、唯色ヲ聞ノミ、積雪

早クシテ、消雪遅ク、且白雲常ニ峯巒ヲ鎖シテ、周

年全面ヲ見ルト稀ナリ、其山脉東方、家形山ニ

連ル、

松川ノ源ハ、此大日嶽ノ弱檜沢ニ發シ、米沢ノ東

ヲ彎流シテ、北部ニ匯グ
 吾妻山、溪間ノ冷泉ニ奇虫ヲ産ス、形守宮ニ似テ、
 大一二寸、四足有リ、小兒ノ痲症ニ效有リ、千貫虫
 ト名ク、宮城才川ノ孫太郎ト同シ
 禾澤ノ南一里、笹野ノ大悲閣有リ、著名トス、関町、
 網木ヲ経テ、岩代國、檜原ニ、通ルル路線タリ
 小野川湯ハ、小野川村ニ在リ、二十六カ所、泉質ハ
 皆食塩、瘡疾ニ宜シ、居民八十五戸、人口五百二十
 六人
男、一百六十七人
 女、一百五十九人
 小野川ノ北、箭子山ニ、霞城趾有リ、明德三年、伊達

大膳太夫政宗、築城ス、煙霞常ニ城郭ヲ弊フヲ以
 テ名クト云、子孫數世之ニ居ル、天正十八年、中納
 言政宗ノ代ニ至リ、廢城ト為リ、今尚基礎ヲ存セ
 リ
 築沢村、字獅子ノ頭ニ、銀礦有リ、民有地ニシテ、現
 今試鑿タリ
 田沢村ニ、新田墟有リ、御館五郎ノ弟、泉子郎清經
 三男、新田冠者經衡ノ居館ナリ
 入田沢村、字八谷ニテ、鉛ヲ製造ス、明治九年、一月
 開業ス、米沢銅屋町高、鈴木氏ノ事業ナリ

館山村地方、烟草ノ良品ヲ出ス、輸出少カラバ
成島村ニ、八幡社有リ、郷社ナリ、其地名勝ノ一ニ
シテ、公園地タリ、源義家西京ノ、石清水八幡ヲ移
シテ、茲ニ奉幣スト云長井出羽守、大江宗秀、社ヲ
建テ、伊達正宗再營ス、社ノ後、密密ニシテ、櫻花ハ
松間ニ、白雲ヲ簇ラシ、躑躅ハ、満山ニ紅檀ヲ展ブ、
山麓ノ村家ハ、烟靄ノ間ニ隱見シ、鬼面川斜ニ其
東ヲ廻リ、渡舟ノ横ハルモ、亦趣有リ
轟村ニ、墟有リ、伊達正宗ノ異母弟、遠藤正壽ノ邸
墟ナリ

鬼面川ハ、上流ニ有リ、大樽、小樽ト曰フ、北流凡三
里、十町、洲島村ニシテ、松川ニ入ル
大樽川ハ、吾妻山、西大巔ノ、横根沢ニ源シ、篠沢村
ニシテ、篠沢川ヲ合セ、館山村ニ至リテ、北流凡七
里六町、小樽川ヲ合セテ、鬼面川ト称ス、小樽川ノ
源ハ、入田沢村、大森峯、夫切沢ニ發シ、館山ニ至テ、
東流凡六里四町トス
小松村ハ、上中下三村ニ分ル、上中ノ二村ハ、民家
相接觸シテ、一村ノ如シ、名邑ノ一ニシテ、小繁華
ノ地ナリ、米沢ノ西少北、三里十八町、山形距離凡

十二里上中小松合シテ、戶數八百零三戶、人口四千七百九十五人、男二千四百九十四人、女二千三百零一人、警察分署

ハ、中小松ニ在リ、諏訪神社有リ、郷社タリ

全國中、養蚕ノ盛ナルハ、本郡ヲ最ト為ス、小松村

ノ生糸ハ、殊ニ著名ニ屬セリ

犬川ハ、玉庭村、眼光沢ヨリ出テ、黒川村ニシテ、大

舟村ノ三沢ヨリ發スル、黒川ヲ合セ、北流九六里

二十四町、大塚村ニ至リテ、松川ニ入ル

御館山ハ、小坂村ニ在リ、往古太郎松人ト云賊魁

此山中ニ棲メリ、源義家之ヲ討劔ス、後秀衡ノ父

御館五郎基衡住居ス、文治年間、奥州泰衡、朝命ニ

從ハズ、源右府之ヲ討ズ、其殘賊良元ト云フ者、逃

レテ茲ニ據ル、右府大江時廣ニ命シテ、之ヲ討ス、

時廣勝ヲ奏スルニ及ンデ、之ニ長井郷ヲ賞與ス

ト云

高畑、赤湯宮内共ニ、東部ノ名邑タリ、高畑ハ、一市

街ヲ為セリ、東西四町餘、南北三町餘、市坊五、戶數

二百六十一戸、人口千二百九十人、男六百四十五人、女六百四十五人

五米沢ノ東北、三里二十一町十二間ニ在リ、山形

距離十一里五町三十九間半、東本郡ノ役所ヲ置

ケリ、警察分署有リ

高畠城趾ハ、承安年間御館權守秀衡ノ五男、樋凡五郎高衡、築城ス、其狀、鐘ノ如シ、因テ鐘ノ城ト名クト云、其後、天正中、小築川貞範、之ニ居ル、全十八年ヨリ、蒲生氏ニ属シ、慶長五年ヨリ、上杉氏ニ属ス、明和四年、織田氏上州、小幡ヨリ移リ、六十四年間、居住ス、天保元年、天童エ移ルノ後、上杉氏ニ付ス、尋テ加増地ト為レリ
上杉氏、政治ノ改革、其領地ト同ジキニ、服セズ、人民党ヲ結一デ抵抗シ、土豪ノ家ヲ屠ル等ノ舉動

有リ、事幕府ニ聞エ、主謀者十二人ヲ刑ス、之ヲ高畠騷動ト称ス、文久三年ノ事ニ係ル

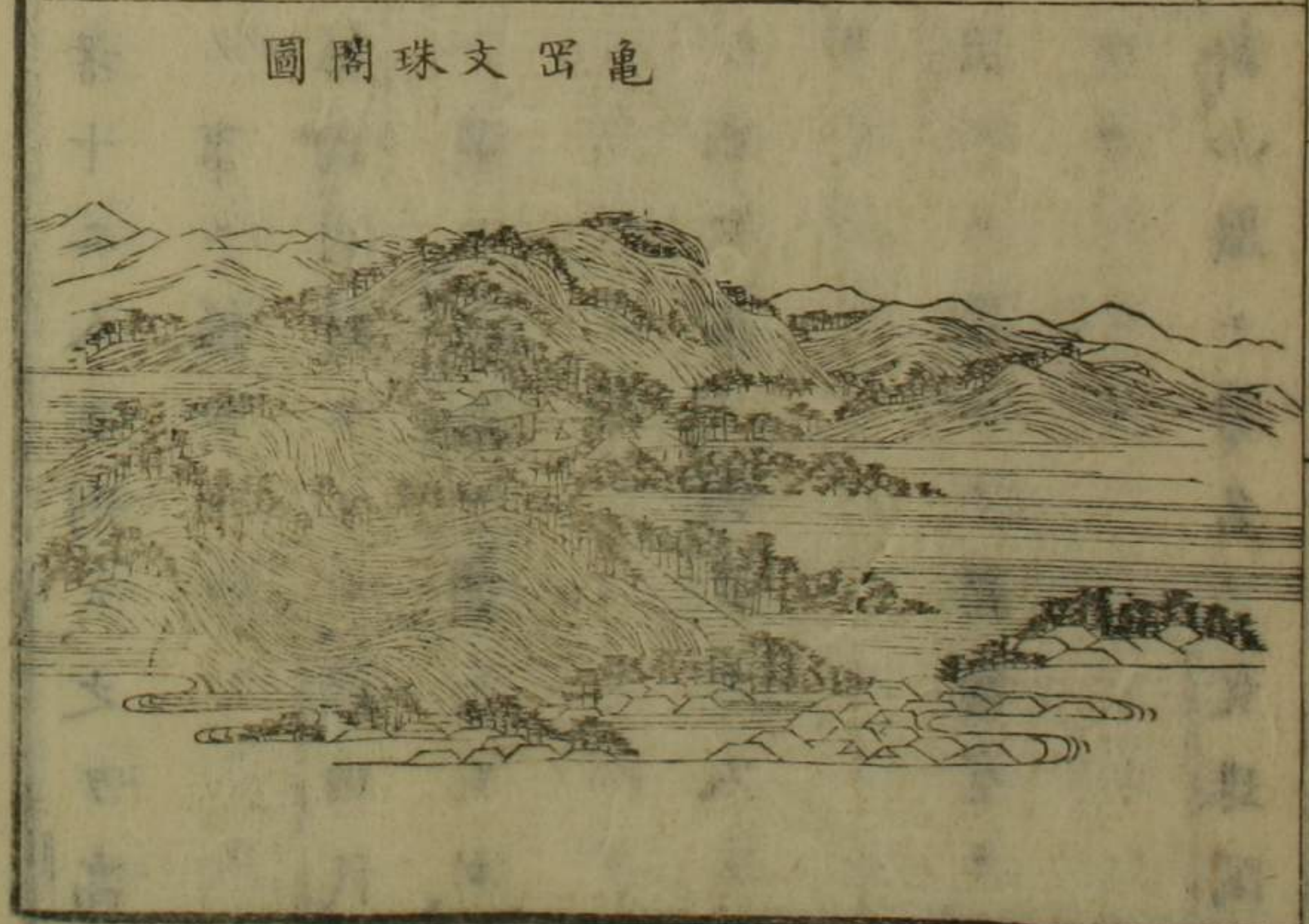
此郷村、明治革新ノ際、上杉氏、削封セラレ、酒田民政局ニ属シ、全三年本縣ニ属シ、支廳ヲ置キシガ、九年ニ至リ廢セリ

高安村ニ、犬ノ宮、猫ノ宮ト曰フ有リ、何タル人ノ祀リシヤ、其由緒詳ナラス

小郡山村ヨリ、磐城國、茂庭村ニ至ルノ路線有リ、四里餘トス、極メテ峻惡ナリ
亀岳村ハ、高畠ノ南、一里許、山腹ニ著名ノ女珠閣

有リ、大同二年八月、僧、德
 一草創ノ巨刹ニシテ、堂
 宇頗ル壯麗、位置尤宜シ、
 堂側ニ古櫻樹有リ、曾テ
 風ニ倒ル、皮膚ニ虫喰ノ
 跡有リ、文珠ノ獅子ニ騎
 シタル状ヲ為ス、俗之ヲ
 虫喰文珠ト曰フ
 和田川ハ、龍カ岳ニ發シ、
 諸澗水ヲ合セテ、上中下

龜出文珠閣圖



和田ノ三村ニ沿フテ松川ニ注グ
 長手村ニ、天神社有リ、郷社ナリ
 高畠ノ東北、安久津村ノ、八幡社モ郷社タリ
 二井宿村ニ、屋代神社有リ、往古出雲ノ大社ヲ、移
 シテ祭祀スト傳フ、蓋郷名之ニ曰ルト云ヘリ
 此村、利右衛門ナル者、貞享年間、民權ヲ主張シ、幕
 府ニ訴フ、後上杉氏ニ引渡サレ、刑ニ處セリ
 二井宿ヨリ、陸前湯ノ原ニ至ルノ路線有リ、二里
 トス、又村山郡、檜下ニ出ル路有リ、二里
 時沢村、宇鳥越山、民有地ニ、
 明治四年

山形縣志是書下

發見、尔來試鑿タリ、赤湯村、菊地氏ノ事業ナリ
屋代川ニ源有リ、一ハ小湯山ヨリ發シ、一ハ龍岳
ヨリ出ヅ、ニ井宿ノ西ニシテ、相合シ、高島ノ北ニ
沿ヒ吉野川ト會シテ、松川ニ入ル
中山、小岩沢、川樋、赤湯、糠ノ目等ハ、山形ヨリ、米沢
ニ至ルノ駅路ナリ
中山駅ニ城趾有リ、蒲生氏ノ時、蒲生左文、又上杉
氏ノ臣、横田旨俊居住ス、駅北ノ路頭ニ、怪石有リ、
驅入石ト曰ス、高三丈許、周圍三十餘步、其下窵ヲ
為ス、數十人ヲ容ル可シ、旨俊嘗テ、最上義光ト戰

ト、尾撃セラル、若林織部佐ト云者、此石ノ陰ヨリ、
突出防戦ス、旨俊回テ城ニ入ルヲ得タリ
川樋ノ地方、土質、葡萄ニ適シ、家々棚ヲ架シテ植
養ス、其味甲州ノ勝沼ニ劣ラズ、翠珠累垂、目食モ
又羨ナリ、又不老泉ト稱スル冷泉有リ、一升ノ量、
二百二十目ニ過ギズ、西京泉、街ノ井泉ニ同シ、尤
煎茶ニ適ス
赤湯駅ハ、温泉有ルヲ以テ、繁華ヲ為セリ、警察分
署有リ、米沢ノ北、四里十町、山形距離、八里五町三
十九間半ニ在リ、東西四町、南北二町、戸數、二百二

十四戶、人負、千三百五十二人
男、六百七十六人
女、六百七十五人

大湯、尾湯、其質硫氣ニシ

テ、麻痺、疝積ニ宜シ、丹波湯

ハ、其質銀塩ニシテ、上衝眼

疾ニ適ス、森ノ湯ハ、其質塩

氣ニシテ、疾瘡ニ功有リ

開泉ハ、天正年間米井某發

見、字上野山ニ、源泉スト云

ハ、リ

赤湯白龍湖圖



字、扇平ニ、銀礦有リ、試鑿ナリシガ、近年廢業ス

湖有リ、周回一里、赤湯ノ東北、十町強ニ在リ、白龍

湖ト名ク、名勝ノ一ナリ、土人魚鰯ヲ漁シテ、業ト

為ス者有リ

二色根村ハ、赤湯ノ西ニ接シ、城墟有リ、山陰中納

言、十二世ノ孫、粟野次郎義廣、居住ス、二色根、金山

ノ邊ヲ、粟野ノ里ト唱ヘシハ、之ニ回レリ

宮内村、其西北、一里許ニ在リ、東西五町、南北九

町、市場二十、戶數四百九十四、戶、人口三千百二十

五人、男、千五百九十一人、郵便局有リ、金負為替ヲ

取扱へり、市店ハ各自販賣ヲ競フ米沢ノ北、四里二十四町一間、山形距離八里二十六町三十間ト

宮内城墟ハ、伊達氏ノ時、大津土佐守居住ス、當時祿三千石、後其地ノ神職ヲ奉シ、其雲仍、今ニ存ス

熊野社有リ、伊弉册尊、速王男命、事鮮男命ヲ合祀ス、其地小密ニシテ、風致有リ、傳ヘ云、平惟盛建立ト、惟盛一族、源氏ニ亡サレ、獨竊ニ紀州ノ那智浦ニ逃ル、樹ヲ白シ、平惟盛入水ト記シ、僧ト為リテ、熊野ニ隠ル、然ルニ搜索嚴ナルガ故ニ、惟盛自ラ

神靈ヲ負ヒ、來テ當郡ニ潛居シ、六七年ヲ経テ、宮内ニ移リ、神像ヲ安置スルト云、今郷社ナリ

人參、薄荷等ハ、有名ノ物産タリ、輸出ハ人參最多シ、宮内ノ近村ニ、産スルヲ優等ト為ス

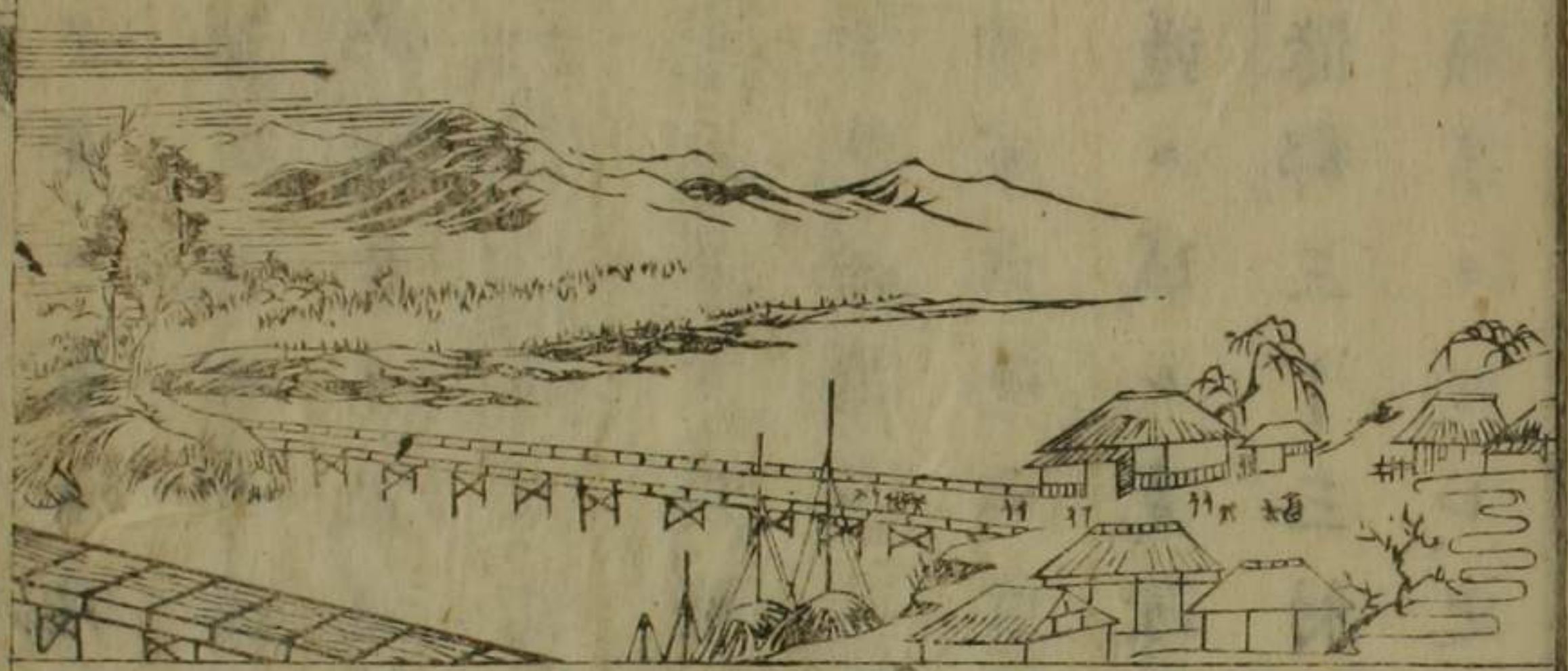
珍藏寺ハ、宮内ノ西、漆山村ニ在リ、旧金藏寺ト称ス、昔時、金藏ト云者有リ、極メテ貧窶ニシテ、樵採ヲ業ト為ス、一日宮内ニ到ル、鶴ヲ籠ニシテ、鬻者有リ、金藏視テ之ヲ憐ミ、其負薪ニ換エテ、之ヲ購ヒ、途ニシテ之ヲ放ツ、一夕女子有リ、金藏ノ家ニ來ル、容色絶美、妻ト為ラント乞フ、金藏辞スルニ

家貧キヲ以テス、女云、患フル勿レ、妾為ス所有リ
 ト、室ニ居ル數日、絹布ヲ織成シ、金藏ヲシテ、售ラ
 シム、十五金ヲ得タリ、悦デ家ニ歸ル、婦ハ則亡シ、
 刺布ノ機ニ在ル者、悉ク羽毛ナリ、是ニ於テ、始メ
 テ雀ノ化身ナルヲ知ル、金藏大ニ感シ、遂ニ出家
 遁世スト云、今尚什物ニ、雀ノ毛織ト稱スル者有
 リ、山号ヲ雀布山ト曰フ、此地公園ノ一タリ
 漆山、梨郷ヲ過ギ、松川ヲ渡リ、大塚村ニ出ヅ、此地
 東西ノ大塚村、共ニ生糸ノ上品ヲ産ス
 今泉村ニ、原野有リ、陣峯原ト云フ
東西二十町
南北六十町

吉野川、一ニ逆川ト云フ、本郡ノ諸水、大約北流シ、
 此川南流、故ニ此名有リ、源ヲ白鷹山下、水林沢ニ
 發シ、流レニ左右シテ、溪澗ニ家スル者五村、小滝
 ト曰ヒ、萩ト曰ヒ、下萩ト曰ヒ、太郎ト曰ヒ、金山ト
 曰フ、下流ハ、宮内ノ東ニ沿ヒ、赤湯ノ南ヲ過ギ、組
 柳村ニシテ、白龍湖ノ下流ヲ合セ、大橋村ニシテ、
 屋代川ニ會ス、水程九十里十一町
 白鷹山ハ、昔時、白鷹ノ巢クフヲ以テ名ツ、麓ヨリ
 頂上マデ、一里、直立十町、朝日、祝瓶ト對峙シテ、昂
 足ヲ為セリ、然ルニ、矮人觀場、遠ク及バガハル者ノ

如之山上ヨリ眺メ、山形ノ地方一眸ニ入テ、風景尤佳絶ナリ、大鷹山ハ、太郎下菟ノ西ニ立テリ、太郎村ニ、鉛礦有リ、明治二年ヨリ廢業セリ、糠ノ目駅ニ城墟有リ、伊達氏ノ門族、伊達周防守住セリ、明應三年、伊達尚宗、霞ノ城ニ在リ、男、植宗、高畠城ニ居ル、當時、父子ノ間、罅隙ヲ生ズ、其四月十二日、糠ノ目川ヲ挾シテ、大ニ戰フ、未ダ勝敗決セザルニ、會津ノ輩名氏、其虛ヲ襲フト聞テ、互ニ交綏スト云、縣川、松川、米沢ヨリ北流シテ、九舟楫ヲ通ズル、糠

糠ノ目川橋圖



ノ目河岸ニ止リ、酒田港ニ運漕セリ、茲ニ至テ糠ノ目川ト称シ、下流亦松川ト曰ク、西北彎流シテ、村山郡ニ注グ、黒井堰ト名クル有リ、上杉氏ノ臣、黒井忠寄ノ功績ニ係ル、窪田村ノ少東、松川ニ堰シテ、長渠ヲ穿ツ、廣一丈二尺、深七尺、長數百歩、大樋ヲ以テ、水脉ヲ接續ス、廣七尺、深三尺、糠ノ

山形縣志

月 谷 閣

目橋ノ西ニ架ス、凡六十歩、福沢村ヲ左ニシテ、堤塘ニ亘ス、凡七十歩、下流分派シ、一ハ赤湯地方一ハ梨郷地方ニ溉グ、是ニ於テ、北條郷始メテ蘇息ス、其初北條郷土地膏腴ト雖、水利ニ乏シ、米沢ノ治主、鷹山氏ノ時、民事ヲ談スル毎ニ、語必之ニ及ブ、黒井氏建議シテ、自ラ其事ヲ負擔シ、人夫ヲ役スル、十万六千六百餘人、工匠ヲ役スル、二万餘人、其業遂ニ成ル、寛政七年ノ事トス、享和元年ニ至リ、北條郷三十三村ノ人民、相共ニ協議シ、碑ヲ建テ、其顛末ヲ紀シ、之ヲ不朽ニ垂ル、其碑ハ、福沢村

喜多院、境内ニ存セリ
 小出、宮、鮎貝、石那田、小國等ハ、西部ノ名邑タリ
 小出、宮、宮、民家連接セリ、松川ノ通航ハ、殊ニ便ニシテ、米沢ニ亘ル、繁華ノ地ナリ、小出ハ、市坊八、東西六町、南北八町、戸數、四百三十九戸、人口、二千三百六十三人、男、千二百十人、女、千五百十三人、宮ハ、豎五町、横三町、戸數、三百七十四戸、人口、二千零二十人、男、千零十人、女、七十人、小出ニ郵便局有リ、金貨為替ノ取扱ヲ為セリ、宮ニ、西本郡ノ役所ヲ置ケリ、米沢ノ西北、七里十六丁、山形距離、十二里十八町トス

宮村ノ北ニ、総宮社有リ、
 天兒屋根、大己貴、稚倉魂
 等ノ命ヲ鎮座ス、郷社タ
 リ、野川、松川ノ流東北ヲ
 圍繞シ、社内清潔ニシテ、
 勝景ノ靈地ナリ、公園ノ
 一ニ居レリ
 白川ハ、源ヲ岩倉村ノ七
 ツ森山下、田ツ森沢ニ發
 シテ、北流シ、須郷村ニシ

圖ルス濱=川松出小宮



テ、廣川ヲ合セ、高峯手ノ子ノ東ニ沿ヒ、小白川村
 ニシテ、小白川ヲ合セ、川合時庭ノ間ヲ貫キ、泉ノ
 東ニシテ、松川ニ入ル、水程十四里二十三町
 野川ハ、小旭岳ノ五觀沢ヨリ發源シ、南流九四里
 餘、寺泉ノ西ヨリ、東ニ彎折シ、成田村ノ東ニシテ、
 松川ニ入ル
 朝日嶽ノ山脉、一突兀ヲ為シテ、本部内ニ面スル
 ヲ、小旭岳ト曰フ、野川流半ノ東、勸進代ノ西ニ聳
 ルヲ、葉山ト曰フ、崢嶸ヲ競ハドモ、小旭ノ兒孫ナ

鮎貝駅ハ一市街ヲ為セリ、豎四町、横二町、四十二間、戸數二百五十二戸、人負千二百三十五人男六百八十七人、女六百米沢ノ北少西十里十二町四十六間

山形ヨリ九七里半 鮎貝城趾ハ、伊達氏ノ臣、鮎貝藤太郎盛宗、居住ス

後蒲生氏ノ臣、高井權右衛門之ニ居ル、上杉氏ニ

至リ、元中条與次三盛、本莊出雲忠長等、交番シテ

之ヲ守レリ

實淵川ハ、源ノ黒鴨村、大津森ヨリ發シ、高岡村ノ

東ニレテ、松川ニ入ル、其崖岸ニ黒滝有リ

石那田駅、旧荒砥村ト称ス、北ニ馬場村接シ、一市

街ヲ為セリ、警察分署ヲ置ケリ、戸數二百零四戸、

人口千零七十七人男五百五十二人、女五百二十五人馬場村戸數

百六十三戸、人口九百六十五人男四百八十一人、女四百八十四人

米沢ノ北十一里餘、山形ヨリ六里半トス、松川ヲ

隔テ、鮎貝ノ東ニ在リ

荒砥城趾有リ、一ニ、八乙女城又石灘城ト曰フ、伊

達氏ノ時、東島和泉守、大達目遠江守、同修理之ニ

居ル、蒲生氏ノ時、水野三左衛門尉、住居シ、後、上杉

氏ニ屬ス、番城トナレリ

山形縣志

山形縣志

此地及北部ハ、養蚕盛ニ行ハレテ、紬布、剝織、大口
紐等ノ製レ、輸出最多ニ

小國町村ハ、山間ノ一小市街ナリ、米沢ノ西、十三
里五町四十五間ニ在リ、警察分署ヲ置ク、戸數、二

十八戸、人口、百四十八人
男七十八人
女七十人

小國小坂町村ハ、横川ヲ隔テ、小國ト、人家相接
ス、長橋ヲ架ス、横川橋ト曰フ、其製勿橋ナリ、戸數、

百二十二戸、人口、六百七十八人
男三百五十四人
女三百二十四人

小國城趾ハ、泉清綱ノ子、小國太郎俊衡ノ居城ク
リ、後、伊達氏ノ臣、上郡山盛為蒲生氏ノ臣、佐久間

久左衛門尉、上杉氏ノ臣、松本伊賀、等居住セリ

大宮村ニ、大宮子易神社有リ、郷社ナリ

朝日嶽、又旭嶽ニ作ル小

國ノ北方ニ聳エテ、二國

羽前、四郡置賜、村中ニ且

越後、田川、磐船ニ且

レリ、五味沢村ヨリ、絶頂

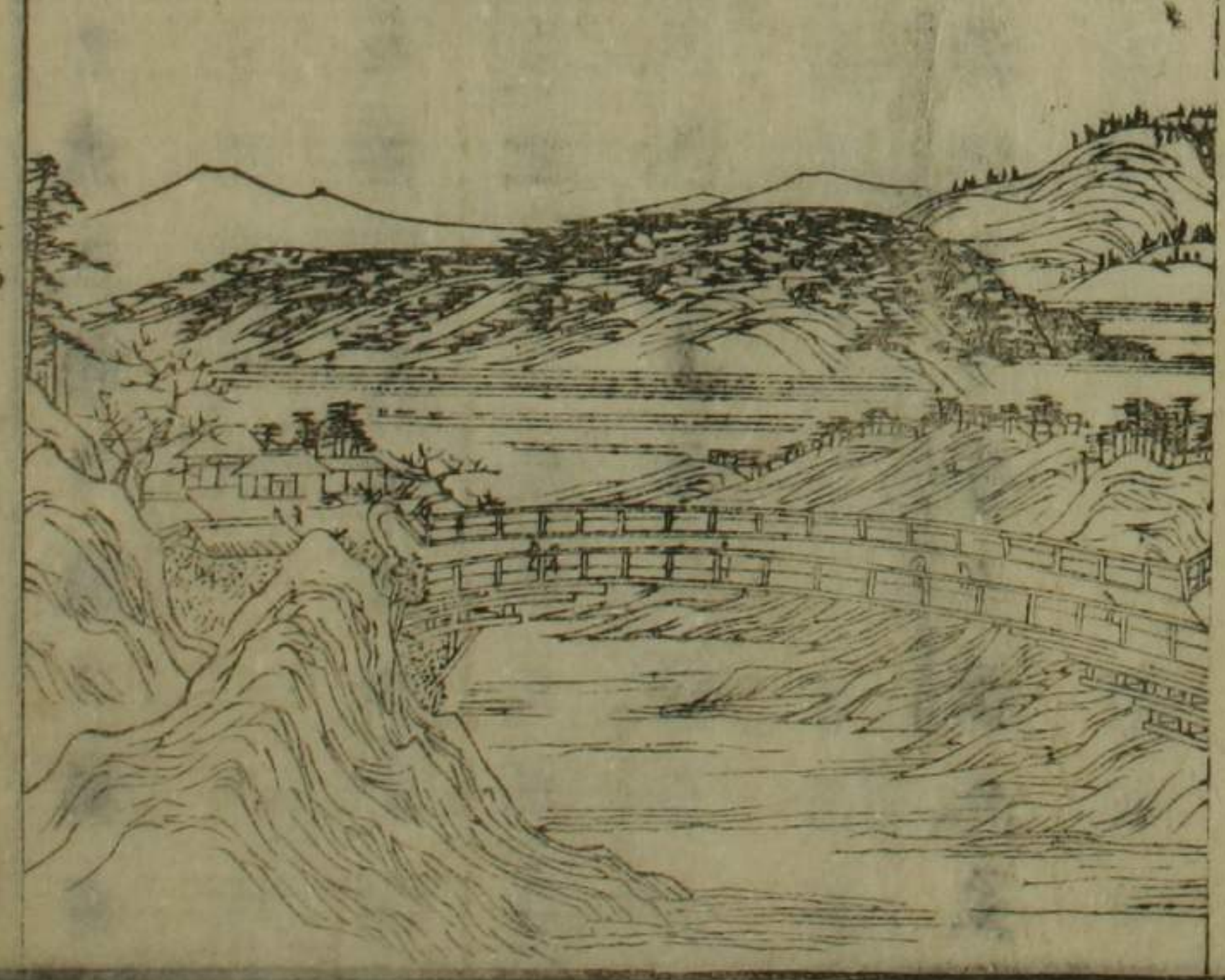
ニ至テ四里、直立、九三十

町、此山、衆岳ニ先ツテ、旭

輝ヲ受ルヲ見ル、曰テ名

ク、風列クシテ、草木長セ

小國横川橋圖



山形縣地誌是要下

二十四

月

谷

間

唯藥艸黃連ヲ産ス、又熊ヲ産ス、朝日熊ノ稱有
 旭嶽ノ東南ニ祝瓶山有リ、其峯勢尖リタルヲ以
 テ、又尖山ト名ク、石滝村ヨリ、絶頂ニ至テ三里直
 立九十六町、獵夫多ク此山ニ入ル、其南ニ金目山
 有リ
 齏紆峠ハ郡ノ中部ニ峙テ、治沢ヨリ、手ノ子ニ至
 ルノ山路ナリ、最嶮峻トス
 櫻峠、黒沢峠、朴木峠、萱野峠等ハ郡ノ西部ヲ東西
 ニ連リテ、皆崎嶇タリ

飯豊山ハ西南ニ在リテ、本郡屈指ノ高嶺ナリ、三
 國羽前越ニ雄峙ヤリ、小玉川ヨリ、絶頂ニ至テ七
 里、直立九一里餘、一歳ノ中、雪ヲ見ガルト、僅カニ
 數日ニ過ギス、巔上ニ山神ノ祀有リ、其山脉西北
 ニ延キテ、槍山、門カ岳、土倉、烏帽子、三笠山等、越後
 ノ國界ニ立テリ
 飯豊ノ穴堰ト稱スル有リ、黒井氏ノ起功ナリ、是
 ヨリ先、黒井氏屢カテ水利ニ盡ス、寛政六年、溝渠
 ヲ穿テ、鍛冶川ノ水ヲ、治城ノ北郭ニ回ラセ、塩野
 川ニ會同シテ、藤泉村ノ古渠ニ達シ、小瀬村、塩野

村等ニ溉ギ、良田ヲ開ク、若干町步、翌年黒井堰ノ
擧有リ、同十年ニ至テ、此飯豊山ノ崑壁ヲ鑿ツ、九
一、百餘步、澗水ヲ引テ、大船、奥田ノ諸村ニ溉カシ
トス、規模已ニ成リ、未ダ幾ナラズ、翌十一年黒井
氏卒ス、後二十年ヲ經テ文政元年ニ至リ、始ノラ
其功ヲ竣フト云
尾折峠、大峠等、西部ノ國界ニシテ、越後ニ越ルル
路線ニ當レリ、其他ノ羣岳、重疊起伏シ、一々名状
ス可ラス
荒川ハ、巨流ノ一ナリ、源ヲ旭岳ノムカチ沢ニ發

シテ西南ニ屈曲流シ、小渡村ニ至リ、横川ヲ會シ
テヨリ、更ニ西ニ折レテ越後ニ出ヅ、上流ヨリ國
界ヲテ、八里廿五町、西部ノ川流、大槩此川ニ注グ、
獨、西根川有リ、樋野峠ヨリ發シ、澗水ヲ會合シテ、
越後ニ出ヅ
石滝川ハ、祝瓶山ヨリ出テ、小股村ニシテ、荒川ニ
入ル、金目川ニ源有リ、一ハ、金目山ヨリ發シ、一ハ、
祝瓶山ヨリ出ヅ、金目村ニシテ相合シ、若山村ノ
西ニシテ、荒川ニ入ル
横川ハ、地藏岳ヨリ出テ北流シ、伊佐領村ノ南ヨ

山形縣志是要下

三月 岩間

リ、更ニ西流シ、小國、小坂ノ間ヲ貫キ、小渡村ニシテ、荒川ニ入ル、水程九六里餘

經川、大館川ハ、沼沢村ニシテ相合シ、沼沢川ト稱

シ、經木、箱口村ノ東ニシテ、又、柴倉山ヨリ出ル、明

沢川ト會シ、伊佐領村ニシテ、横川ニ入ル、又大滝

川有リ、北流シテ、杉沢村ニ至リ、横川ニ入ル

玉川ハ、飯豊、七ツ森ノ二山ニ源シテ、北流、九九里

十町、龍ヶ岳ノ北麓ニシテ、小玉川村ノ北ヨリ發

スル、是水川ヲ合シ、一道ト為リテ、荒川ニ入ル

小玉川村ニ、温泉有リ、村南、二里半餘ニ在リ、永保

元年、發見スト云ヘリ、泉質硫氣ニシテ中風脚氣

痲症ニ效有リ、戸數、三十三戸、人口、百九十五人百男

八十三人、小國ヨリ九十里

全村字湯ノ瀨ニ、山塩ヲ産ス、明治二年以後、廢業

セリ

瀑布ニ有リ、梅花皮滝、高二十丈、旭俣滝、高四丈餘

共ニ玉川ニ注グ

田川郡

照井長柄閣

本郡及ビ飽海ハ原越後國ニ属セリ、而レテ本郡ハ當時出羽郡ト稱ス、出羽國ヲ置クニ及ンテ、田川ヲ以テ郡ニ名ク、羽前國ノ西部ニ位シ、北ハ最上川ヲ以テ、羽後國、飽海郡ヲ限リ、東月山以北ハ、羣岳ヲ以テ、最上郡ニ連リ、以南ノ疆界、西ニ彎入シ、八乘川ヲ以テ、村山郡ニ接ス、朝日岳東南ノ一隅ニ立テ、置賜郡ヲ界シ、南ハ摩耶ノ山脉起伏シテ、越後國、磐船郡ニ隣リ、西ハ海ニ濱ス、旧時ハ、全郡大泉ノ莊ニシテ、五郷ニ分テリ、狩川、中川、櫛引

京田、山濱是ナリ、東南部ハ都テ山地ニ属スレド、西北部ハ平坦ニシテ地味豊饒、水利充足郡名實ニ適セリ、東西八里二十五町、南北十七里三町、鶴岡ノ地位ハ郡ノ中部ニ在リ、氣候西北部ハ汞針寒二十度、暑九十七八度、積雪三四尺、東南部ハ寒十八九度、暑九十四五度、雪ハ四尺ヨリ一丈ニ及ブ、舊反別壹万四千貳百七拾貳町二反貳畝廿貳步壹合四勺、草高拾六万零三百零貳石八斗三升四合九勺壹戈

山形縣志是要下

耕宅地現反別、貳萬八千三百五拾壹町七反六畝
 拾四步八合七勺 地價金、八百九拾八萬七千百
 五拾五圓四拾八錢九厘
 山林原野現反別、九千六百三拾二町九反零貳拾
 四步 地價金、八萬九千七百九拾五圓拾八錢壹
 厘
 市街、百三十八村落、三百十一、戶數、二萬三千四百
 五十三戶、人口、十三萬五千七百七十人 男六萬八
 千零七十
 七人、女六萬七千
 六百九十三人
 學區、廿一番中學區中學校一、傳習學校一、小學校

九十一、教員、二百九十七人、生徒、六千四百三十一
 人、男五千九百十六人
 女五百十五人
 牛、四百零四頭、壯、三百廿三 馬、六千五百五十九頭、
 壯、五千五百四十 舟、二百石以上、八百石以上、七
 二、牝、千零十七 舟、五十石以上、三十五、海、小、船、
 千三百八十二、艘、十三、車、馬、車、四、人力、車、四百三
 川、小船、千六百九十三、車、十一、荷、車、百四十二
 郵便局所在、崔岡、藤島、津川、田川、木、侯、小、部、三、瀨、
 温海、磯、関、大山、加、茂、黑、森、長、浜、余、目、横、
 山、手、向、黑、川、松、根、大、網、上、山、漆、町
 屋、大、谷、宮、曾、根、前、田、野、目、長、寄
 普通物產、米、糯米、大麥、小麥、粟、稗、大豆、蕎麥、甘薯、馬
 鈴薯
 特有物產、麻、繭、蚕種、生糸、真綿、藍葉、茶、楮、漆、葉烟草

山形縣志是下

茶種、荏種、紙酒、燒酎、白葡萄、石炭、砂金、アネカモニ
一、鐵石、虎斑竹、根曲竹、椎茸、石花菜、若和布、海苔、真
田織、女帶地、花紋蠟燭、糸織、八丈縞、熊鯛、鯉、鮭、干鰯、
飯蛸、老級郎、八ッ目、鰻

月山、一名犁牛山、直立五千三百尺餘、形狀卧牛ニ

似タリ、四時雪ヲ載キ、極暑稍斑紋ヲ見ル、山脉起

伏シテ、三郡田川村ニ跨レリ、頂上ニ祀有リ、月讀

尊ヲ祀ル、湯殿山ハ其半腹ニシテ、月山黒ハ之ガ麓

カ、月山之ヲ三山ト稱ス、月山神社國幣中社タリ

巔西、字牛首ニ、石炭礦有リ、今ハ廢セリ、其北ニ、鍛

冶屋敷ト稱スル有リ、刀工月山丸、參籠セシ跡ト

云ヘリ、本社ノ左方ニ沼有リ、甚大ナラズ、小屋數

個有リ、石ヲ重疊シテ礎ト為シ、巨木ノ縱横交互

シ、縛シテ之ヲ造ル、竹葉或ハ茅ヲ以テ屋ヲ葺ク、

各二三十人ヲ容ル、ニ足ル、休憩シ且風雨ヲ避

ク可シ、湯殿山ニモ有リ、此山熊ノ産ス、月山熊ノ

稱有リ

湯殿山ハ、月山ノ西、凡三里ヲ隔ツ、大網駅ヨリ田

麥俣村ヲ經、左折シテ登ル、仙人澤ニ、小屋三四有

リ、行李ヲ小屋ニ托シ、輕装シテ出ツ、數歩ニシテ

山形縣地誌是要下

路線絶ス、水石沮洳ノ間ヲ躑歩スル、凡二十町、御
沢ト名ク、先達相警メテ、勿言勿語ト曰フ、盖山ノ
形状ヲ秘シテ、其信ヲ固フスルナリ、既ニシテ溪
極リ、崑石壁立ス、鋸階三件ヲ直架ス、長各三百尺
許、猿攀シテ登ル、階尽テ頂上ニ達ス、此ヲ御前ト
稱ス、大綱ヨリ五里、崔嵬距離十里十六町、東南ノ
谿間ニ、熱湯湧出ス、大梵字川ノ水源是ナリ、湯殿
山神社大己貴命、少彦名命、二柱ヲ祭り、大日靈尊
ヲ從祀ス、國幣小社タリ
村山郡ノ志津ヨリ登ル、亦險ナリ、石バ子ト曰フ

所有り、崑石ヲ跨躍シテ涉ル、故ニ名ク、姥月光ニ
出ヅ、打ガククダリト稱スル有り、盖山岳ヲ降ル
ノ謂ナリ、屢々鉄鎖數條ヲ垂ヒ、縋リ以テ陟降ス、
御前ニ至テ、凡三里
夏秋ノ候、諸國人民、參詣羣集シ、賽錢山ヲ為セリ、
參詣者之ヲ道者又御行ト号ス、幣帛ヲ捧ダ白衣
ヲ著ケ、絡繹織ル如シ、窮郷僻地、為メニ利沢有リ
湯殿山ノ北、凡七里、羽黒山トス、森林蔭鬱、山甚高
カラズ、石ヲ疊ミテ路階ト為ス、凡一里餘、以テ陟
降ニ便ス、寛文中、僧天宥、其弟子宥玄ト共ニ、此石

山形縣志是也

景之山月山殿湯及山黑羽



燈ヲ造ル又荒沢ノ花表
ニ彫刻シタルニ龍後川
ノ俱利伽羅不動東照宮
ノ手水石等皆此師弟ノ
作ニ係ルト云頂上ノ本
社西南十七間東北十三
間造構頗ル壯麗羽黒神
社是ナリ又出羽神社ト
稱ス一ニ伊氏波神社ニ
作ル亦國幣小社タリ

本社ノ西ニ蜂子神社有リ南ニ蜂子皇子ノ古墳
有リ鐘樓有リ鐘ノ丈八尺口ノ徑五尺五寸厚七
寸古物ナリ銘有リ分明ナラズ後宇多帝建治年
間ノ鑄造ト云五重塔有リ天慶中平將門建立其
後北條高時大寶寺武藤政氏等再建慶長中最上
義光修造ノ棟札亦有リ荒沢ニ常火堂有リ周年
薪ヲ断セズ
手向村ハ戸數三百餘戸從前別當神官ノ居宅許
多有リ此ヲ山麓トス羽黒ニ登ルハ此村ヲ本路
トス鶴岡ノ距離三里餘月山頂上マデ九里

國見山ハ景色佳絶ナリ、羽黒山ノ旧社有リ、又半
 腹ニ玉川寺有リ、巨刹ノ一タリ、大綱ノ注連寺、大
 日坊モ共ニ巨刹ト稱セリ、大綱、田麥侯ヲ過ギ村
 山郡志津ニ至ル、六十里越是ナリ
 田麥侯ノ温泉有リ、夏候浴客少カラズ
 松根駅ノ北、黒川村、字赤坂山ニ、明治四年以來、牧
 牛場ヲ開キ、乾酪ヲ製ス、霍岳士族、中臺氏ノ營業
 ナリ、黒川ニ郷社有リ、春日神社ト云フ
 全士族、三千五百餘名協力シテ、墾拓ノ舉有リ、明
 治五年七月創業ス、高寺、後田、其他數村、入會ノ官

林、後田林ト曰フ、有リ、其地ヲ官ニ請フテ、新圃貳
 百七拾八町貳反六畝拾四步ヲ開キ、桑茶ヲ培植
 ス、猪俣新地ニ、家屋ヲ設ケ、移住數十戸之ヲ松岡
 組ト曰フ、七年一月、政府賞典金、三千圓ヲ下賜セ
 リ、又巨大ノ養蚕場、十個ヲ設ケ、桑ヲ貯蓄スルノ
 土藏等有リ
 金峯山ハ、霍岳ノ南二里許ニ在リ、直立一千三百
 尺餘、靈山ニシテ、勝景ノ地ナリ、此山上古七葉山
 ト号シテ、有名ノ神跡ナリ、山中ニ大穴、沢、金倉山
 王谷山、王平等ノ名所有リ、承久年間、大和、金峯山

ノ祭神ヲ移シ、爾來金峯山ト改稱セリ、堂社數個有リ、北方ノ山麓青龍寺村ニ御嶽神社有リ、縣社ナリ、村北ニ川有リ、青龍寺川ト曰フ、滝沢村山中千金滝ヲ原トス、高八丈、下流雀岳ノ西ヲ回リテ、赤川ニ入ル

山ノ西麓高坂村ハ楠氏ノ黨與、潜匿ノ旧跡ナリ、地名ニ赤坂有リ、山名ニ河内山有リ、皆本國ノ稱呼ヲ移セリ、此村洞春院ハ應永中楠能勝ノ開基トス、能勝ハ正儀ノ子孫ト云ヘリ、寺ニ楠公小楠公ニ與スル所ノ書ヲ傳ス、當時秘スル所有リ、故

ニ世人知ル者少ナシ、近時村民相議シテ、湊川神社ノ分靈ヲ祭祀センコトヲ立願セリ、高坂館ノ遺趾有リ、武藤義氏ノ老臣、高坂中務居住ス、義氏暴逆ニシテ、人民怨ヲ吞ム久シ、惡屋形ノ称有ルニ至ル、高坂屢諫レ、氏聽レズ、最上義光之ヲ聞キ、家臣草薙備前ニ謀ヲ授ケテ、之ヲ逐ス、備前高坂ニ依リ、説テ謀ヲ共ニス、義光兵ヲ率ヒ、松根ニ出テ、義氏ヲ攻ム、備前等火ヲ放テ内應ス、義氏支フル能ハズ、終ニ自刃ス、天正十二年ノ事トス、此地既ニ平ク、義光高坂ヲ臣属ト為ントス、

高坂固辭シテ曰、義氏主ト雖暴ナリ、人民ヲ如何
セシ、而シテ今日ノ事、公ヲ助ケテ然ルニ非ズ、吾
歳六十且子無シ、豈獨榮花ヲ保ツニ忍ニヤト、後
復面セズ、遂ニ家士族從ニ、金貨賤物ヲ分與シテ、
去ラシメ、其身大和國、金剛山ニ入テ、世ヲ遁ルト
云フ

高坂ノ少東、日枝村ノ日枝神社ハ郷社タリ
赤川、上流ニ有リ、一ハ大鳥川トシ、一ハ大梵字川
トス、熊出村ノ東ニシテ二水相會シ、一ノ大河ト
ナリ、北流シテ、酒田川ニ入ル、此川全郡ノ中央ヲ

流レテ、郡ノ巨川タリ、大泉ノ莊名、蓋之ニ因レリ
大鳥池、南北二十四町三十間、東西十九町五間、本
郡南端ニシテ、國境ニ接セリ、羣山突兀ノ地ニ際
シ、頗ル高度ニ居レリ、瀉下七瀑ヲ為シ、高合セテ
凡三百六十尺、幅五尺許、下流ハ則大鳥川ナリ、一
ニ櫛引川ト名ク
池ヨリ北、凡九里大鳥村トス、昔時平氏ノ没落ス
ルヤ、彼脫党散シテ、處々ニ潜匿シ、遂ニ部落ヲ為
ス者、肥後ノ五家、越後ノ三面、其他尚有リ、此村ノ
如キモ亦然リ、言語風俗、自ラ別種タリ、戶數、凡四

山形縣志是要下

十二過ギス、又大鳥太郎ノ錦趾有リ

此村礦山有リ、アソチモニ山ヲ産ス、試鑿タリ、銀鉛銅礦有リ、未ダ著手ノ者無シ、又硯石ヲ出ス

田沢村以北、大鳥川ノ東岸、凡四五里ノ間、巖岩屏列、地理極メテ要衝、西岸モ亦巖石嵯峨トシテ相

對シ、水其崖底ヲ行ク橋有リ、田沢ニ通ズ、尾浦橋ト曰フ、橋上ヨリ下瞰スレハ、其幽深寒カラズシ

テ粟ス、或人瓢水ヲ覆シテ距離ヲ試シ、其滴瀝未ダ流面ニ達セザルニ、瓢ハ既ニ空シ

此橋、上杉氏ノ臣、本莊重長人、創構セシ所ト云、天

正度、重長ノ莊内ヲ襲フヤ、東禪寺右馬頭、尾浦ニ

據リ之ヲ防グ、越後口既ニ開戦シ、急ヲ告ル頻リ

ナリ、是ニ於テ兵力ヲ巖カ関、小名部ノ地方ニ鳩

人、大鳥ノ險ヲ恃ミテ、曾テ意ヲ諛地ニ注ガズ、重

長之ヲ偵知シ、自ラ精銳ヲ率ヒ、大鳥ニ出テ、卒ニ

橋ヲ架設シ、不意ヲ撃テ勝ヲ得タリ、其尾浦ヲ按

ハ、此橋ヨリスルヲ以テ名ク

大鳥川ノ西岸ニ、本郷村ノ河内神社ハ、郷社ナリ

大梵字川ハ古名赤川ト号ス、明神山ヨリ發シテ

郡界ヲ為セリ、八束川、湯殿山ノ谷々ヨリ出ルハ

山形縣志是要下

三月 月 名 局

若和川、又月山ノ普陀洛ヨリ出ル、金剛山川、俗ニ田麥俣川ト
 合セテ大鳥川ト會ス、金剛山川、俗ニ田麥俣川ト
 曰フ

大網ノ村民梵字川ヲ隔テ、耕作ヲ為ス者有リ、
 懸崖奇險、橋ヲ架スルニ難ク、又素ヨリ造構スル
 ノ資力乏シ、葡萄蔓ヲ緬合シテ、大索ヲ作り之ヲ
 樹根ニ約シテ、兩岸ニ亘ス、長凡三十尋、手足索ヲ
 擁ニ、傳絶互遮シテ來往ス、之ヲ猿子渡リト曰フ、
 又其索ニ、箍ノ如キ者ヲ貫架ス、箍ノ兩邊ニ網有
 リ、以テ物ヲ運搬ス、大鳥川ノ沿岸ニモ、同然ノ地

有リ、僻郷ノ民苦此ノ如
 シ、然ルニ慣習以テ常ト
 為セリ
 越中山村、曠漠タル原野
 多シ、大館氏溝渠ヲ開鑿
 シテ、金剛山川ヲ分注セ
 リ、字烏帽子形ニ至リテ、
 一大瀑布ヲ為ス、煙見滝
 ト号ス、堰路幅七尺、深三
 尺、屈曲長五千五百間餘

大網農夫猿子渡圖



山形縣也志是要下

三七

月谷

灌溉ノ利ヲ得テ墾拓百町餘歩ニ及バリ其業天
保三年ニ起リテ全八年ニ成レリ故ニ之ヲ天保
堰ト名ク

又猪ノ俣堰有リ松根村ニ属スル赤滝ノ下流ヲ
引テ猪ノ俣村ニ注グ故ニ名ク

大綱ノ東南ニ塞神山赤倉山有リ田麥俣ノ北ニ
鳥々ノ森有リ龍岳大岬峠ハ湯殿山ノ南ニ有リ

劍岳雜木山ハ月山ノ西ニ有リ火打岳陣カ峯ハ
羽黒山ノ東ニ立テリ

笹川ハ源ヲ月山ニ發シ荒川村ニ至テ荒川ヲ併

セ藤蔦村ニ至テ藤蔦川ト稱ヒ京田川ヲ合シテ
西北流シ赤川ノ下流ニ入ル

荒川村ニ荒川神社有リ郷社タリ

京田川ノ上流ヲ菟川ト曰フ羽黒山中大滝ヲ源
トス其滝高三丈餘荒川ハ數源有リ皆大綱ノ連
山ヨリ出ヅ

立谷澤川源ヲ月山ノ來迎谷ニ發シ屈曲シテ諸
水ヲ合セ清川村ノ東ニシテ最上川ニ入ル此川

砂金ヲ産ス月山ト羽黒山ノ中間ナル珊瑚沢ヨ
リ流出セリ

山形縣志提要下

三六 月 名 蜀

清川駅ハ本郡ト飽海最上ノ分界ニ際シ、樞要、
河岸ナリ、破泊ノ地ナルヲ以テ、一市街ヲ為セリ、
御諸皇子神社有リ、郷社トス
清川ノ東、森林鬱々タリ、御殿林ト曰フ、又東立谷
沢川ヲ隔テ、嵩石壁立ス、腹卷岩ト曰フ、戊辰、四
月廿三日、鎮撫使、新莊ニ著ス、即夜官軍二小隊許、
腹卷岩ニ陣ス、莊内兵ハ御殿林ニ在リ、廿四日拂
曉、腹卷岩先ヅ發炮ス、御殿林ニ應シ、二三時間
銃戰、互ニ殺傷有リ、之ヲ奥羽ノ戦端ト為ス
狩川駅ハ清川ノ西一里餘ニ有リ、窪岳、酒田ノ岐

路ニ属ス、故ニ小繁華ヲ為セリ、郡司小野氏ノ館
趾有リ
狩川ノ館主、北館利長ハ、最上氏ノ臣ナリ、慶長十
六年、立谷沢川ヲ分流シテ、用水ト為スヲ建議ス、
最上氏之ヲ善トシ、由利、飽海、田川ノ三郡ニ令シ、
日ニ人夫七千四百二十二人ヲ課シ、日ヲ閱スル
三週間ニシテ、功ヲ成セリ、溝ノ幅約四間、長二里
餘、清川ノ西ニ方リテ、其地勢南ハ山脚ニ逼リ、北
ハ河岸ニ窮ス、此邊凡五百間、其初屢壞損セラレ
テ、毎ニ其水害ニ苦シム、利長嘗テ發スル所ノ鞞

山形縣志是書下

有リ、青貝ヲ以テ塗装ス、一日神ニ祈誓シ、鞞ニ大石ヲ附シテ之ヲ投ス、既ニシテ溝渠成リテ、堤塘保存ス、遂ニ三万五千餘石ノ耕地ヲ開クニ至ル、尔後堤上ヲ路線ト為シ、從テ此地ヲ青鞞ト呼ブ、今ニ至テ、其水利ニ頼レリ、土俗之ヲ狩川ノ揚堰ト稱ス

漆川村ニ郷社有リ、兩所神社ト云フ

藤島ノ西一里強、横山村トス、押切新田村、新井堀二十九里十四町七間、窪田距離ニ里二十九町二十九間、戸數百九十七戸、人口千百二十一人、男五百四

十七人、女五 館趾有リ、武藤氏ノ一族住居セシト云ヘリ、此村六所神社ヲ郷社トス

藤島ノ西一里強、横山村トス、押切新田村、新井堀、馭等窪田ヨリ酒田ニ至ル路線ナリ、押切新田ノ愛宕社ト、水川村ノ八幡ハ、共ニ郷社ナリ

余目村モ名邑ノ一タリ、藤島ノ北二里ニ在リ、戸數三百七十八戸、人口二千百九十七人、男千百零三人、女千 零九十人、藍ヲ産ス、輸出少カラズ、阿保忠實ノ館跡有リ、亦八幡社ヲ郷社トス

京田川西岸ニ、往古井口ト名ケシ地有リテ、分國

山形縣志是吾下

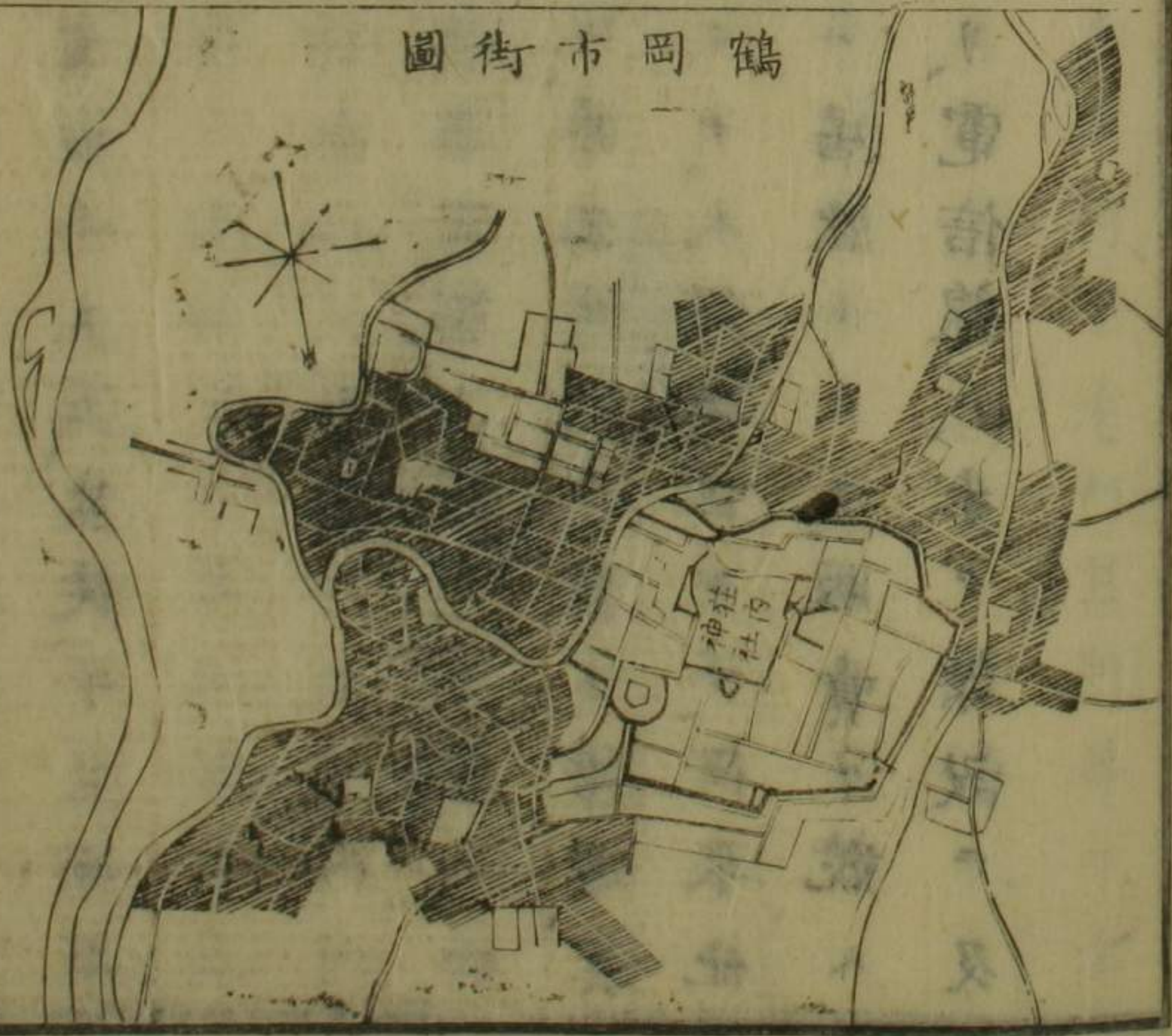
甲 月 日 月

後國府ヲ置ケリ、仁明帝嘉祥年間地大ニ震動
 シテ、形勢變革セリト傳フ、此地今ヲ距ル百六十
 餘年前ハ、酒田廣野ノ号有リ、柵樹森林ヲ成セリ、
 故ニ又柵谷地トモ稱セリ、正徳年間、新田開發ノ
 事有リ、其頃古石碑ノ類ヲ夥ク鑿出シ、之ヲ以
 テ道路ヲ作レリト云ヘリ、享保二年ニ、石高ヲ定
 メテ、九百六十七石ノ村落ヲ成セリ、即廣野新田
 村是ナリ

最上川ノ南岸ニ、飽海郡ノ地所突出セリ、小出新
 田、堤新田ハ二村是ナリ、水流轉換セシ故ニ因レ

鶴岡ノ管内屈指ノ都
 會ナリ、山形ヨリ三十
 一里二十二町十三間、
 東西一里、南北全シ、町
 數百二十三、村數七、戶
 數四千五百八十三、戶
 人口二萬五千百十四
 人、男一萬二千二百二
 十八、女一萬二千九
 十八、中學校一、教員

鶴岡市街圖



山形縣地誌提要

里一 月 谷 岡

五人、生徒、男九十人、傳習學校一、教員二人、生徒、男七十三人、小學校六、教員四十五人、生徒、千三百十八人、男千零八十八人、女二百三十八人市街ニ溝渠ヲ貫通ス、即赤川ノ分流ニシテ、内川ト名ク、各處橋ヲ架ス、其名雀園ト曰ヒ、三雪ト曰ヒ、千歳ト曰フ、舟船出入、車馬來往、水陸ノ漕運、其便最宜シ、物品殷贍ニシテ、人烟稠密ナリ、從來他邦人多ク輻輳シ、土人ハ居然トシテ、販賣ヲ競ヘリ、所在石油燈ノ備有リ、電信線ハ未ダ架設ニ及ハス

上肴町、十日町、三日町、五日町、下肴町、荒町等ハ、至眼ノ街衢タリ、商店、旅店、割烹店、相交リ、妓樓ハ、七日町ト八間町ニ有リ、寺院堂社モ處々ニ散布ス、寶町、日枝神社ハ、縣社ニシテ、天神町、裏町ノ春日神社ハ、郷社ナリ、南町、常念寺、鍛冶町、總恩寺、家中新町、大楮寺、坂井川村、吉祥寺等ハ、共ニ巨刹ト称セリ

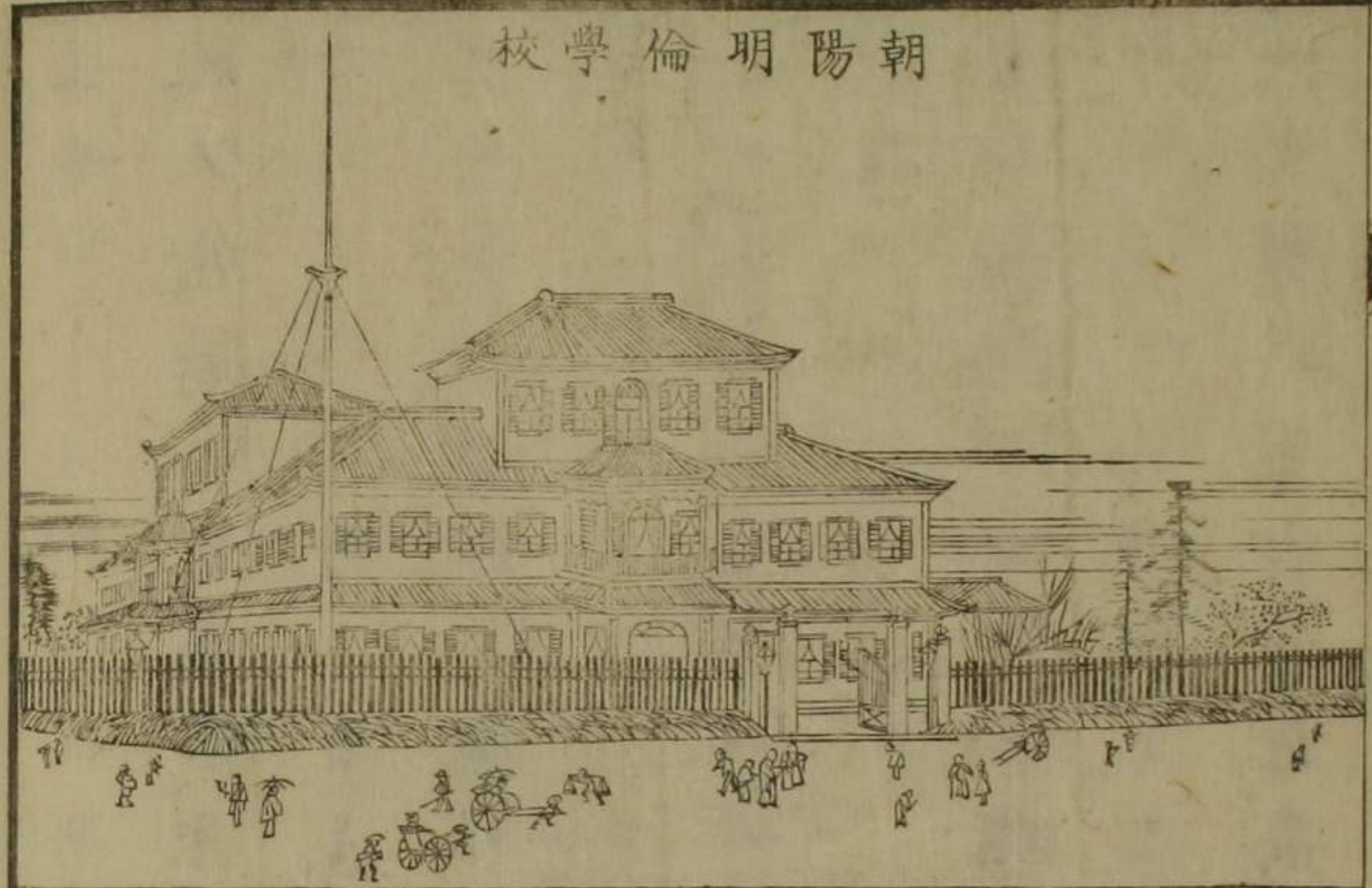
朝陽學校ノ如キ、其建築ノ宏壯ナル、其以類ヲ見ザル者トス、明治九年、三月、工ヲ起シ、全六月落成ス、面積、五百七十坪、高五丈八尺餘、三層樓ニシテ、

山形縣志提要下

四十一

月 谷 岡

朝陽明倫學校



洋製ニ倂ス、女學校其構内ニ置ク、明倫學校ト曰フ、有志輩醵金シテ官之ヲ經營ス、經費四万圓ニ及ベリ
西本郡役所ハ馬場町ニ在リ、警察署、全分署ハ、全十日町口ニ在リ、郵便局ハ一日市町ニ在リ、金貞為替ノ取扱ヲ為セリ、三日町ニ演劇ノ常座有リ

輸出品ハ、真田織女帶地、花紋蠟燭等ナリ、近年糸織ハ丈縞等ヲ産ス、又蒲綿ヲ製ス、未ダ輸出ニ至ラス

庄内神社ハ酒井氏三代ノ靈ヲ合祀ス、旧城趾ニ在リ、縣社トス、其地ヲ公園ト為セリ、梅櫻松楓ヲ雜植シテ、頗ル四時ノ景趣ニ富メリ

鶴岳城ハ元大梵寺、又大寶寺ト号ス、其経始詳ナラス、一説ニ、後三年ノ役、義家ノ陣營ナリシト云、平城ニシテ、赤川ニ接近セリ、鎌倉ノ時、武藤氏ニ属ス、天正十二年、最上氏ニ属シ、全十三年、前森筑

前ヲレテ守ラシム、全年ヨリ、慶長五年ニ至リ、上杉氏ニ属ス、下治右衛門ヲ城代トス、全年又最上氏ニ属ス、新関因幡守之ヲ守ル、義光更ニ築城シ、後霍密ト改ム、元和八年以後、酒井氏酒田城ヲ併セテ、之ガ主タリ、十代忠實ニ至リ、明治二年、版籍奉還シテ、之ヲ廢セリ

大室寺村ノ東、赤川従前渡船場ナリシガ、明治十年冬、中洲ヲ築キテ、新ニ三橋ヲ架ス、長合セテ二百廿五間、三河橋ト号ス、大山、加茂、田川ハ、西部ノ名邑ナリ、大山ハ、原尾浦

ト号ス、霍密ノ西、一里三十町ニ在リ、城墟有リ、西ニ大戸川、東ニ大山川有リ、要害ノ地ナリ、東西十一町四十五間、南北三十町四十五間、市坊十七、戸數、六百九十戸、人口、三千七百三十六人、男千七百九十八人、女千九百三十八人、繁華ノ地ナリ、酒造ヲ業ト為ス者多ク、輸出モ少カラズ、大山酒ノ称、管内ニ冠タリ、文治中、源右府、武藤資頼ヲシテ、邑ヲ州内ニ食シ、資頼尾浦ニ築キテ、之ニ居リ、大室寺、東禪寺ノ二城ヲ守衛シ、二十餘代ニ傳フ、子孫或ハ、大室寺城ニ居ル者有リ、義氏ニ及ニテ、武藤氏亡ビ、此城

山形縣地志提要下

毀損シテ、廢棄ニ属セリ

元和以後、酒井氏ニ属ス、正徳四年、酒井忠解分領ス、寛文八年、忠解卒シテ、嗣無シ、則幕料ニ歸シテ、酒井氏ニ附ス、久フ静謐ヲ唱ヘシガ、弘化元年四月ニ至リ、突然トシテ、人民黨ヲ結ビテ城趾ニ據リ、一時紛乱ス、之ヲ大山騷動ト云ヘリ、慶應元年、更ニ酒井氏ノ所領ト為レリ

下川村ノ善寶寺ハ、巨刹ノ一タリ、九船舶ヲ出ス者、海上安全ノ祈禱ヲ、此寺ニ請フ、以テ例ト為セリ、此村用水池ニ有リ、其一東西十五町五十四間、

南北十八町八間、其一東西十二町十二間、南北十町十七間トス

大山川ハ、上流ヲ八沢川ト曰フ、源ヲ湯ノ沢山ニ發シテ北流シ、平田村ノ北ニシテ、南方ノ連山ヨリ出ル、大戸川ヲ合セテ、赤川ニ入ル

地安川ハ、青龍寺川ノ分流ナリ、大山川ニ入ル、此邊古戰場トス、最上氏ノ時、上杉氏ノ侵入ニ當テ、東禪寺右馬頭、此川ヲ隔テ、戦ヒ、大ニ破レテ、遂

ニ戦死ス、今尚古墳五六ヲ遺セリ、加茂ハ大山ノ西一里、鶴岡ヨリ三里、東西、二町三

十間、南北三町二十間、市街
 十一、戶數四百五十二戶、人
 口二千二百六十七人、男十
 一人、女千五百七十七人、
 警察分署ヲ置
 久、市場ノ形状、旅店ノ造構
 頗ル清楚ニシテ、攝ノ神戸
 似タリ、秋田、能代、其他北
 海ニ來往スル船舶多クハ
 此澗ニ碇泊休息ス、故ニ其
 繁昌雀岡ニ亞ガリ一東而

加茂澗之圖



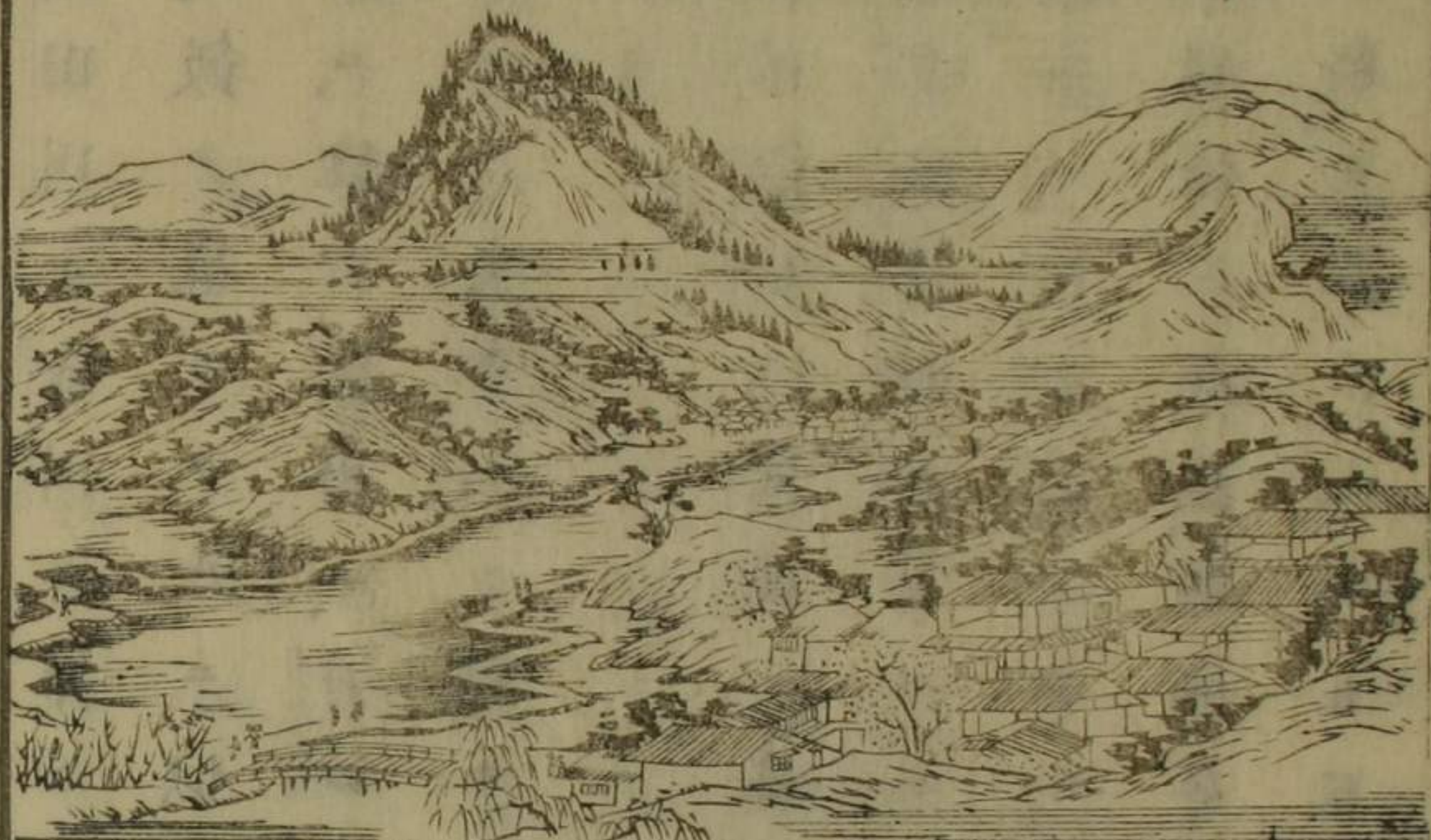
澗ハ東西二百四十間、南北百八十間、深二仞三尺、
 暗礁二有リ、南ヲ邪魔線ト曰フ、西南十間、東北五
 間、餘北ヲ西道線ト曰フ、東西五間、南北四間、深一
 仞餘、船路ハ酒田港ニ五里廿町、巖カ関ニ八里廿
 一町トス

左右岡巒海中ニ突出シ、棧橋有リ、旗亭有リ、巒頭
 ニ春日神社有リ、郷社トス、景色佳絶、湯ノ濱ニ至
 ルノ海岸、眺望最奇ナリ、無數ノ崑石、波間ニ出沒
 シ、潮汐ノ去來ニ回テ、大ニ其觀ヲ異ニス
 湯ノ濱村ハ加茂ノ北ニ在リ、戶數百四十六戶、人

口、八百九十人、男四百二十二、女四百六十八人、温泉有り、海岸ニ
 接近ス、亦勝景ノ地ナリ、浴客常ニ多シ、泉質ハ、硫
 塩氣ヲ混ス、疾瘡ニ宜シ
 濱中駅ハ、藥種ヲ産ス、玫瑰花、杜松子、接骨木花等
 ナリ、又挑林有リ、花時遊人多シ
 宮ノ浦村ハ、本郡西北ノ極隅ニシテ、酒田港ト相
 對向ス、窪岡ヨリ六里餘、渡船場ナリ、漁戸多シ、其
 獵ハ、鰯ヲ最トス、又川口ノ船路、時トシテ變換ス
 ルヲ有リ、故ニ入船ヲ導クヲ以テ、業ト為ス者有
 リ、之ヲ水戸教ト曰フ、日枝神社有リ、郷社トス

酒田川ト赤川ニ濱シテ、小巖有リ、其狀穂秀ニシ
 テ、飯ヲ盛リタルニ似タリ、故ニ飯盛山ト号ス、一
 説ニ、往古國府ノ井口ニ在リ、時、烽候ヲ設ケシ
 地ニテ、火守山ト称セシヲ、訛傳セシナラント云
 へリ
 田川湯村ハ、窪岡ノ西南、一里十五町ニ在リ、郷社
 由豆佐賣神社有リ、此地母笱山ノ北麓ニシテ、温
 泉出ツ、田川湯ト号ス、泉質ハ、礬塩氣ヲ混ス、頭痛、
 眩暈、婦人血症、眼疾等ニ宜シ、殊ニ中風ニ効有リ、
 戸數、百六戸、人口、五百五十一人、男二百六十一人、
 女二百九十八人

田川浴場ヨリ金峰山ヲ望ム圖



西南、三町、田川駅トス、戸數
 百二十五戸、人口、七百五十
 人、男三百八十六人、田川太
 郎實方ノ館趾有リ、今ハ田
 圃トナリテ、郭壘僅カニ遺
 レリ、八幡社有リ郷社トス、
 其西南ニ石山有リ、其地本
 陣山、土矢倉等ノ稱有リ、武
 衛家衛ノ陣所ニシテ、土矢
 倉ハ、一夜間ニ建築セシ者

ト云、又義家陣所ノ跡ト云有リ
 坂野下、菅野代、温海川、木ノ俣、小國等ヲ經テ、小名
 部ニ至ル、雀岳ヨリ八里廿四町、新瀉縣下ニ通ズ
 ル、一ノ支道ナリ、堀切峠ヲ以テ國界ト為ス、小名
 部ヨリ越後國、磐船郡、小俣駅ニ出ヅ、一里弱トス、
 堀切峠ハ、摩那山ノ脉、西ニ延ケルナリ、摩那ハ、
 高峻ニシテ越後ニ亘レリ、関川ノ源此ニ發ス、北
 ニ湯ノ沢山有リ、相對峙ス
 小國駅、一ニ尾國ニ作ル、館趾有リ、武藤氏ノ臣、小
 國因幡之ニ居レリ、字鬚ノ沢ニ、虎斑竹ヲ産ス

山形縣志是要下

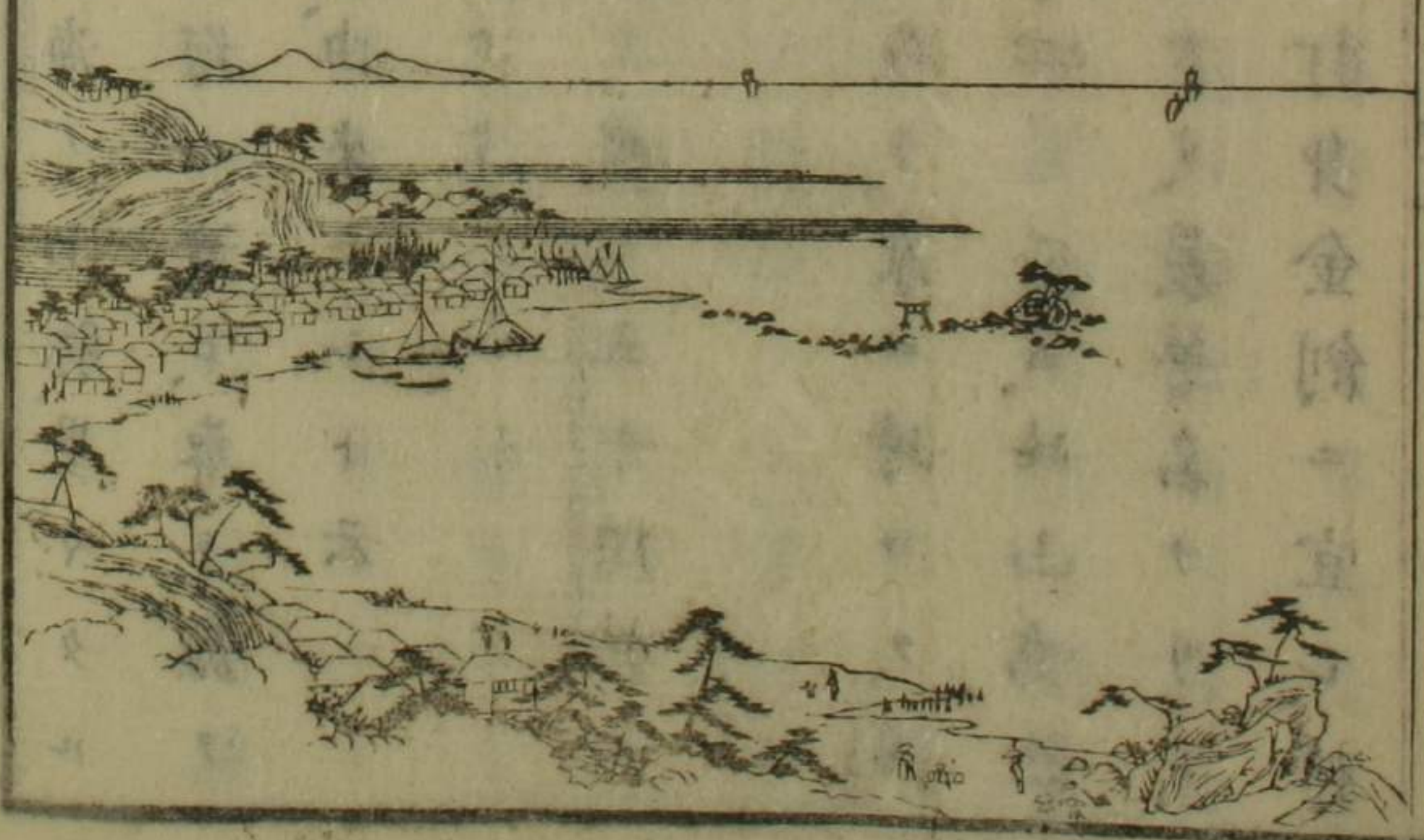
三瀬駅ハ大山ヨリ三里八町海岸トス、市街繁昌
ナリ、警察分署ヲ置ケリ、縣社氣比神社有リ、此ニ
由良、油戸、今泉等ノ村落有リ、皆沿海岬岨ノ間ニ
在リ
由良浦ノ八乙女巖窟ハ有名ノ神跡ナリ、景行帝
ノ時、武内大臣、造拜ノ地ト云ヘリ
油戸村、字音坂山ニ、石炭墾有リ、炭質ハ最上トス、
明治九年、十月ヨリ借區タリ、現今採出多カラズ
ト雖、後來ノ盛大必ス期ス可シ、此邊都テ石炭脉
多シ

三瀬以南ノ部落、東ハ摩那、温海ノ山脉、墨々タル
山間ニ在リ、薪炭ヲ出ス、西ハ海ニ濱シ、専ラ漁ヲ
業ト為セリ、故ニ山濱ノ郷名、由來セシト云
西目村ニ、荒倉神社有リ、縣社タリ
菅野代川ハ、菅野代ノ東山ヨリ發シ、五十川村ニ
沿フテ、海ニ入ル
温海駅ハ、三瀬ノ南、三里半ニ在リ、東ニ峙ツテ、温
海岳トス、後堀川帝、嘉祿二年四月二日、此山鳴動
シ、温泉湧出スト云、温海湯是ナリ、最著名ナリト
ス、泉質ハ硫塩氣ヲ混ス、第一打身金創ニ宜シ、村

ヲ温海湯村ト号ス、郷社熊野社有リ、戸數二百六十九、人口千六百七十七人、八百五十七人、女八百五十七人、温海川ハ、温海岳ヨリ發シテ、温海駅ノ南ニシテ、海ニ入ル

小國川ハ、源ヨリ摩那山ニ發シ、大岩川ハ、北ニ沿フテ、海ニ入ル

圖 澗 関 カ 巖



小名部川ノ上流ヲ関川ト曰フ、巖カ関ノ南ニシテ、海ニ入ル

巖カ関ハ、原念珠関ト曰ヘリ、辨天島横ニ、海中ニ突出シテ、前ニ當リ、風景佳絶、管下名勝ノ一ナリ、隣國小廻ノ舟船入津シテ、小繁華ヲ為セリ、澗ノ廣、東西二百六十間、南北二百四十間、深四呎四尺、戸數二百二十七戸、人口千百十八人、男五百五十七人、女五百一十六人、雀留ヨリ十里八町、羽越ノ國界タリ

飽海郡

照井長柄閣

本郡ハ羽後國ノ西南部ニ位シ、北ハ同國由利郡ニ連リ、鳥海山ヲ以テ界ス、東ハ羽前國最上郡ニ接シ、丁嶽其他ノ諸山ヲ以テ限リ、西ハ海ニ瀕シ、南ハ最上川ノ大流、全國田川郡ヲ劃セリ、昔時ハ三郷トス、遊佐、荒瀬、平田是ナリ、又川北ノ稱有リ、元和以後、雀岡ニ附ス、明治二年來沿革有リテ、今九年八月、田川郡ト共ニ、山形縣ニ合ス、東北部ハ山地ニシテ、中央ヨリ南西ハ平地ナリ、其水田ニ富ナルハ、田川郡ニ亞ク者トス、東西凡六里、南北

八里二十三町五十四間、酒田ノ地位ハ、郡ノ西南極隅ニ在リ、氣候、西北部ハ、寒暑共ニ劇シ、汞針、極暑九十度ヲ出ル有リ、極寒二十度内外トス、東南部ハ、夏涼シク、冬寒シ、極暑八十四五度、極寒十八九度、大約風強ク、雪深シ、獨酒田地方ハ、積雪薄フシテ、海風尤烈シ、舊反別、壹万四千百六拾七町五畝貳拾九步四勺、草高、七万四千九百四拾壹石八斗八外五合九勺、耕宅地、現反別、壹万三千八百五拾三町貳反貳畝

拾步四勺 地價金、四百零八萬四千零四拾貳圓
三拾三錢四厘

山林原野現反別、五千七百六拾貳町壹反八畝拾
步 地價金、五萬六千八百廿壹圓三拾五錢貳厘

市街、七十六村落、百五十戶數、一万三千五百廿二
戶、人口、七萬七千二百人、男、三萬八千九百七十九人、
女、三萬八千二百二十一

學區、二十番中學區、小學校、五十一、教員、百十四人、
生徒、三千三百零六人、男、二千九百九十一人、
女、三百一十五人

牛、三十五頭、北、廿五 馬、三千百八十二頭、北、二百
北、二千八 百九十四

舟、五百石以上、五、二百石以上、十一、百石以上、五、五
十、百石以上、四、船、百十、海、小舟、七百四十一、川、小舟

郵便局所在、酒田、北、目、飛、鳥、松、嶺、山、谷、新、田、目、宮
內、遊、佐、町、吹、浦、手、藏、田、市、茶、飛、鳥

普通物産、米、糯米、大豆、小豆、大麥、小麥、蕎麥、甘薯
特有物産、實綿、麻、繭、蚕卵紙、真綿、生糸、藍葉、茶、菜種

荏種、藥種、工、草、虎、斑、竹、檣、筵、漆、器、陶、器、尾、花、帽、子
酒田下駄、埋木、鯛、鰻、鱈、鮑、牡、蠣、砂、干、鰯、實、干、鰯、雷、魚

鮎、鮭、八、目、鰻、干、温、鮓
酒田港、八、家、屋、櫛、以、レ、萬、船、輻、輳、百、貨、狼、籍、夕、リ、其

繁昌、啗、兩、羽、ニ、冠、絶、タル、ニ、ナ、ク、大、内、國、ニ、於、テ、

酒田港圖



横濱、神戸、函館ノ諸大港ニ
 並グ者ト謂フベシ、港口、東
 西十三町、南北八町、深一俵
 一尺、北少西ニ向フ、市坊、七
 十六、東西十二町二十三間、
 南北三十一町五間、戸數、三
 千六百九十九戸、人口、一
 万七千九百四十九人、男八
 千九百九十八人、女九千
 六百五十九人、
 分ツ、街衢井然トシテ、所謂

碁盤割ナル者ナリ、所在石油燈路ヲ照ラシ、車馬

ノ來往、昼夜雜沓セリ、小學校七、教員二十九人、生

徒、六百八十二人、男五百五十九人、女百二十三

酒田ハ、元川南ニ在リテ、飯盛山ノ南、坂野部新田

ノ地方トス、天文年度ヨリ、居民漸次ニ今ノ地ニ

移轉セシ者ト云フ、其稱呼古昔ハ、砂瀉ニ作レリ、

元和以後、酒井氏ノ所領ニ屬シテヨリ、酒田ト改

メ、明治二年正月、民政局ヲ置キ、全三年二月、酒田

縣ト為シ、全年九月、山形縣ニ屬シ、全四年十一月、

更ニ酒田縣ヲ置キ、田川、飽海ノ二郡ヲ統轄ス、全

八年十月、縣廳ヲ田川郡、窪岳一移ス
本町一ノ町ヨリ、七ノ町ニ至ルノ市街ヲ、主眼ノ
地トナス、其繁華ナルハ、上下内町、秋田町、傳馬町
等、商賈肆ヲ列子テ、其業ヲ競ヘリ、船場町ニ本郡
郡役所在リ、且廻船問屋多シ、中町邊、諸職業ノ家
錯雜ス、漆器、建具、酒田下駄等ハ、輸出最多シ、警察
署、全分署、郵便局等ハ、三ノ町ニ在リ、郵便ハ、金貨
為換ヲ取扱ヘリ、福島裁判所、酒田支廳、全區裁判
所ハ、上臺町ニ在リ、十五堂町、愛宕社ト、近江町ノ
日枝社ハ、共ニ郷社タリ、寺町ノ泉流寺ハ、奥州大

守秀衡、妹徳尼、開基ノ古刹ナリ、其他淨福寺、安祥
寺、大心寺、妙法寺、林昌寺等ハ、皆巨刹ト称ス
今町、觀音小路、舟場町等、妓樓連接シ、今町ノ裏ニ、
演劇ノ常座有リ
最上川ニ産スル埋木ハ、其質潤沢多ク、尤優等ト
ナス、之ヲ器物ニ製造スルハ、中町、白壽氏、其業ヲ
專ニセリ
日和山ハ、丘埜ニ過ギス、舟場町、出町ニ接近セリ、
右傍ニ、皇太神ノ宮有リ、郷社トス、側ニ琴平神社
有リ、此山ニ登覽スルヤ、最上川ノ下流ヨリ、遠ク

山形縣地誌提要下

辛四 明 俗 蜀

八海面波濤ノ杳渺タル、近クハ港内市街ノ縦横
タル、南ハ金峯、羽黒、湯殿、月山、北ハ鳥海、其他ノ羣
岳、巍然トシテ起有リ、蟠乎トシテ卧ス有リ、峻嶒
突兀、名状シ尽ス可ラザル者、尽ク眼底ニ歸ス、即
公園地タリ

山下ヲ新町ト曰フ、高野濱ハ古名金華寺ト称セ
リ、田川郡ノ宮ノ浦ト、川ヲ隔テ、相對ス、舟場町
ニ渡船場有リ、平水幅十五町餘、白砂青松映帶シ、
頗ル播摩ノ舞妓灣ニ似タリ
日和山一連リテ、日枝神社有リ、縣社トス、大山咋

命ヲ祭ル、大社ナリ、神殿檐端ノ獼猴、花卉、雙竜等
ノ彫刻、名匠ノ手ニ成ル者ト云、絶テ刀鑿ノ痕無
ク、頗ル活動ノ状ヲ具セリ

海向寺有リ、寶曆中、僧忠海ト曰フ者、菓食水飲、湯
殿山ノ仙人沢ニ苦行シ、此ニ遺跡ヲ留ム、其屍体
尚依然トシテ存セリ

酒田川、即最上川ノ下流ナリ、地ニ因テ其稱ヲ殊
ニスルノミ、其發源ヨリシテ、此ニ至リ、迂回屈曲
九百里、内國三大河ノ一ナリ、河口ハ田川郡ト相
對シテ灣ヲ為シ、其狀雙袖ノ如シ、故ニ袖浦ノ稱

有リ、浦頭ノ距離、僅カニ八町許、水利引括ス、故ニ
泮然トシテ奔瀉シ、水勢頗ル快利、海ニ入テ、九三
十里ノ流道ヲ為スト云

飛鳥ハ、吹浦ノ西七里ニ在リ、酒田ニ属ス、其距離
十七里、周回凡一里三十町、勝浦、浦村、法木ノ三村
ニ分ル、戸數、百五十一戸、人口、九百四十二人、男四百八
十五人、女四
百五十七人現反別、拾九町六反六畝廿步、地價金、
千六百八拾七圓三拾六錢三厘、漁獵ヲ業トス、産
出海藻ノ種類ト、細大ノ鱗介有ラサル者無シ、珍
物ニ海柳ヲ産ス、錫ヲ得ル最多シ、以テ公稅ニ充

ツ、天色晴明、海波恬穩ナレバ、佐渡、越後ヲ指點ス
可シ、孤島ト雖モ、郵便局ノ設有リ

勝浦澗ハ、東西六町四間、南北二十一町、深六反、其
灣ハ、東南ニ面テ、遠賀美神社有リ、郷社トス、字笹
森ノ月座神社ハ、村社タリ、又遙拜所有リ、其他寺
院一、小學校一、教員二人、生徒男三十二人、浦村ニ
雜社一、法木ニ、雜社寺院各一ニ在リ
島ノ西南、九十町、御積島有リ、島腰ニ洞穴有リ、洞
ノ経四間許、深三十間餘、上下左右、皆金色ノ鱗形
ヲ為ス、水鏘々然トシテ常ニ鳴ル、水底緑砂平布

亦遠賀見神社有リ、其他ノ群嶋、大小數個有リ、
渾テ怪狀異様ナリ、之ヲ勝浦ノ、笹山ヨリ眺望ス
レバ、島嶼海水ヲ環ラシ、殆ンド一大湖ノ如ク、景
色画ク可シ、名勝ノ一タリ

酒田城、一名東禪寺、其内郭ニ沿フテ、流通スルヲ
新井田川ト曰フ、荒瀬川ノ分流ニシテ、酒田川ニ
入ル、慶長年間、酒田港ニ、長七尺餘ノ大亀上レリ、
之ヲ山形ニ報ス、最上氏以テ祥ト為シ、乃東禪寺
ヲ亀カ崎、大寶寺ヲ雀ガ岡ト改稱スト云、此城、往
古ノ経始詳ラズ、田川郡、尾浦ノ城主、武藤氏ニ

属シテ番城ナリ、最上氏ノ時ニ至テ此古城ヲ修
理シテ、其門族ヲ居ク、天正十三年、上杉氏、其臣本
条重長ヲシテ、襲撃セシメテ、之ヲ拔キ、甘糟川村、
志田等ノ數輩ヲシテ、鎮撫セシム、慶長六年ニ至
リ、又最上義光三男、清水大藏大輔、流ニ沿フテ侵
入シ終ニ上杉氏ノ將卒ヲ驅逐シ、志村伊豆ヲ城
代トス、元和八年、酒井氏ニ属シ、復番城ト為ル、戊
辰ノ冬、酒井氏、本郡ヲ削ラシ、以後之ヲ廢セリ
鶉渡河原村地先、酒田川一ノ瀬、二ノ瀬、三ノ瀬ト
云フ有リ、引網ヲ以テ鮭ヲ漁ス、其盛獵ニ至テハ、

實ニ奇觀ナリ
 城南ニ往時飽海村有リ、蓋今ノ鶉渡川原村ノ地
 方ナリト云、鶉渡河原ヲ過キテ、路線ニ折ス、一ハ
 酒田川ヲ絶リテ、田川郡新堀村ニ至ル、一里三十
 二町餘、雀岡道トス、一ハ大町ヨリ砂越、飛鳥ノ諸
 村ヲ經、相沢川ヲ渡リ、相沢、竹田、松嶺ニ至ル、酒田
 ヲリ正東、四里六町十二間
 飛鳥村ノ飛鳥社、生石村ノ八幡社、共ニ郷社夕リ
 飛鳥社ニ祭神ハ、事代主命トス、同社ノ東南ニ仁
 王ノ木像有リ、頗ル古色ヲ存セリ、其彫刻名匠ノ

作ニ出テ、真ニ活ル如シ、最著名ナリ
 相澤川ハ、相沢山ニ發源シ、十二滝ノ下流ヲ合シ、
 南流シテ、最上川ニ入ル
 竹田村、陶器ヲ出ス、明治三年以來、雀岡士族ノ營
 業ニ係レリ
 松嶺城ハ、正保五年、忠勝ニ男、酒井忠恒分領シ、安
 永八年、忠休ノ時、幕令ニ依リ、新ニ築城ス、忠國ニ
 至リ、明治二年十一月、版籍奉還、以後之ヲ廢ス
 松嶺ハ、元松山ノ地ニシテ、小繁華ナリ、名邑ノ一
 トス、東西十町、南北十七町、市坊十七、戶數五百六

十三戸、人口、二千九百八十三人、男千四百五十八人、女千五百二十八人

製糸場有リ、松嶺士族近年ノ開業ナリ、中町ニ、中山神社有リ、郷社トス、巨剎有リ、慈光寺ト曰フ、松嶺ヨリ山寺ヲ經テ、最上川ヲ渡リ、狩川ニ通ス、二里三十二町、又曰カ沢成眞屋、柏谷沢ニ至ル、此ヲ國郡ノ分界トス、成眞屋ヨリ、亦最上川ヲ渡サテ、清川ニ達ス可シ、九三里、松嶺ノ東ニ聳ユルヲ胎藏山トス、山上ニ藥師神社有リ、飛口、繫路、鷲猪ノ鼻布倉ノ諸山、鳥海ノ東南

ニ挺列シテ、最上郡諸山ト、腹背ヲ相為セリ、北俣村山中ニ、瀑布有リ、注下スル十二層、故ニ十二滝ノ名有リ、最著ナル其大ナル者六有リ、河原滝、高三丈三尺、幅一間餘、四ノ滝、高三丈二尺、幅一間、九ノ滝、高一丈七尺、幅五尺、蛇滝、高一丈五尺、幅一間、ヒヤケ滝、高三丈八尺、幅三尺、南滝、高三丈五尺、幅一間二尺、凍石山ノ麓ニ、之引ノ滝有リ、白玉川ヨリ分注セリ、山上ニ奇石三有リ、人相對立スル者ノ如シ、大関山ノ南ニ、木賊山有リ、全山皆木賊茂生ス、故

ニ名トス、西ニ藥
師山有リ、北ニ向
山有リ

向山ノ瀑布ヲ、日
向滝ト曰フ、其地

升田村ニ屬ス、故

ニ又升田瀑ト曰フ、高九四十六丈、幅四間八分ニ

シテ富角ニ觸レ、半ハ霧ト為リテ散ス、嵩崖聳立、

夏月尚寒ヲ覺フ

升田村、字茂木沢山ノ半腹ニ石油ヲ出ス、明治八



升田日光瀑

年發見ス、又草津村、字湯ノ臺ニモ、石腦油ヲ出ス、
慶應二年發見、明治十年廢業セリ、又小林村、字川
上ニ切石ヲ産ス

市条村、八幡社、縣社タリ、觀音寺村、飛沢神社、本

楯村、大物忌神社、米島村、白山神社、共ニ郷社タ

リ、楯山村ニ古祠有リ、節婦小掠賣ヲ祭祀ス、ト云

高野濱以北、海ニ沿フ村落、漁業ヲ專ニス、秋分鱒

ヲ漁ス、輸出最多シ、藤崎村、生糸ヲ産ス

酒田ヨリ吹浦駅ニ至ル、五里八町五十四間餘、其

間砂磧ノ地トス、秋冬ノ候、風殊ニ暴烈ニシテ、内

地三四里ノ間、砂ヲ卷キ、石ヲ飛ハシ、或ハ溝渠ヲ
埋没シ、或ハ家屋ヲ壞損ス、之ニ加フルニ、雨雪ヲ
以テス、其勢嚮フ可ラズ、民庶業ニ安ンズル能ハ
ズ、有司モ為ス所ヲ知ラズ、往時ハ此ノ如クナリ
シト云、恐クハ飽海ノ称、由テ來ル所以ナルカ
延享年間、佐藤三氏領主ノ募リニ應シ、植樹ニ從
事ス、先ツ蓬根及ビ合歡ヲ植、次テ松樹ヲ培植ス
勵精數年、終ニ各家産ヲ傾尽スルニ至テ、大功漸
ク成リ、爾來蒼松鬱茂シ、以テ飛砂ノ風害ヲ防
ク、遂ニ藤寄村ヲ成セリ、又天明年間、本間氏土功

ヲ起シ、植ルニ稚松數百萬株ヲ以テス、其初砂ヲ
布囊ニ充テ、之ヲ累ネ之ヲ積シ、高數十尋、長數百
間、一ノ丘垤ヲ作ル、年ヲ経テ、松樹林ヲ為シ、亦風
砂ノ害ヲ除ケリ、其地南ハ山王山ニ連リ、北ハ小
湊ノ辺ニ至ル、村民碑ヲ建テ、諸氏ノ功績ヲ紀シ、
以テ不朽ニ垂ル
酒田ノ人、曾根原氏亦大志ヲ發シ、從來所有ノ財
産ヲ一時ニ賣却シテ、資本トナシ、安永年間、十里
塚ニ移住シ、人民ヲ集メテ、米金ヲ給與シ、樹木植
付ニ尽カスル年有リ、終ニ風害熄テ、村落ヲ成ス

ニ至ル、菅里村是ナリ
日向川ノ水路、穗積村ニ接シテ、九二里ノ際、屈曲
多シ、大雨或ハ雪解ノ時ニ方リ、暴漲之ガ為メニ
激溢シ、村落其水害ヲ蒙ル少カラズ、安政二年、今
野梅津ノ二氏、新川開鑿ニ從事スル七年、終ニ成
功セリ、旧流變シテ、五十餘町歩ノ耕地トナル、藩
廳其功ヲ賞シ、茂作新田ト号ス、今宮海村ニ合セ
リ、茂作ハ今野氏ノ通称ナリ
日向川其源鳥海山人鶴間池ヨリ發シ、升田村ニ
至テ升田池ノ下流ヲ併セ、其他溪谷ノ諸水ヲ合

シテ西流シ、宮海比子、兩村ノ間ヲ貫キテ、海ニ入
ル
荒瀬川二源有リ、一ハ最上郡、差首鍋支郷、高坂村
界ノ深谷ヨリ發スル又ハ大俣川ト曰ヒ、全郡全村
支郷、西川村界、重嶺谷ヨリ發スル又白玉川ト曰
ヒ、青沢村ニシテ、二水相會シ、荒瀬川ト称シ、塚淵
村ノ西ニ至テ、日向川ニ入ル
月光川ハ、鳥海山人、鳥ノ海ヨリ出テ、杉沢村ニシ
テ、熊野堂川ヲ合セテ西流シ、江地村ノ東ヨリ北
折シ、鳥海山麓ニノ滝ノ下流ナル、高瀬川ヲ會シ、

吹浦ニ至テ、吹浦川ト稱シテ、海ニ入ル、二ノ滝高六丈三尺、幅三間半

吹浦ニ鳥海山神社有リ、兩羽ノ一ノ宮ニシテ國幣中社トス、神殿及ビ、石燈花表俱ニ儼然タリ、鳥

海山登路ノ一タリ、頂上マデ九里、南路ニ以スレバ易ナリトス、吹浦澗ハ東西二十間、南北五十間

餘、戸數二百六十戸、人口千四百四十八人、男七百九十五人、女六百九十五人

湯ノ田温泉ハ、吹浦ノ北ニ接シ、西ハ海ニ向ヒ、形勝ノ地ナリ、浴客毎ニ多シ

道路左折レテ、御寄ニ到ル、

即鳥海ノ西麓ニシテ、海面

ニ突出ス、東ハ峻嶒タル、鳥

海ヲ林樾ノ表ニ仰望シ、西

ハ蕞ルタル、飛鳥ヲ波濤ノ

間ニ下瞰ス、山路凡一里半、

富歌テ樹遮リ、人ハ袖ヲ聯

ヌルニ難ク、牛馬ハ物ヲ馱

スル能ハズ、岬角三有リ、故

ニ又三崎岬ノ稱有リ、中岬

三崎新道圖



山形縣志是要下

御寄神社有り、従前ハ大師堂有リテ、大師寄ト
曰ヘリ、此ヲ郡界ト為ス、酒田ヨリ八里許、本郡沿
海ノ北境此ニ盡ク
鮎ハ、從來秋田ノ名産ト稱ス、然ルニ女鹿、三崎ノ
海岸之ヲ漁スル亦夥シク、價甚廉ナリ
本縣秋田ノ兩管内務省ニ稟議シ、新道ヲ開鑿ス、
客年七月、功既ニ竣ク、三崎新道ト稱ス、女鹿ヨリ
右折シテ、小砂川ニ至ル、危険ノ阪路ヲ變シテ、坦
夷ノ車道タラシム
有耶無耶ノ関ハ、飽海、由利ノ郡界、鳥海山ノ麓、字

岩山ノ地方ニ、関屋在シト、古來云傳ヘ、火、明治九
年、三崎新道開鑿ノ路線中、談地ニシテ礎跡ヲ見
ルニ至ル、古記ニ在テ不詳ト雖、氏以テ信スルニ
足ル者トス
落伏村、永泉寺ハ、巨刹ノ一ニシテ、僧圓仁ノ開基
トス、山ニ靠テ造構ヤリ、其山巖石嵯峨トシテ、奇
崑怪石、形状頗ル村山郡ノ山寺ニ似タリ、土人之
ヲ小山寺ト稱ス、中古玄翁和尚住セリト有リト
云、落伏今ハ、直世村ニ合ヤリ
遊佐町村ハ、郡ノ中央ニシテ、元遊佐郷ノ首邑ト

リ、今尚市街ノ呼稱ヲ存ス、遊佐太郎ノ城趾有リ、尾花帽子ヲ産セリ

上蕨田村ハ、名邑ニシテ、鳥海山南面ノ路口タリ、

頂上マデ九里八町、頗ル險ナリ、戸數七十六戸、人

口三百八十九人、男二百零一人、酒田ノ東北、九三

里トス、上寺ニ從前ハ、三十三坊有リ、今ハ大物忌

月山ノ二社ヲ勸請セリ

鳥海山、一ニ大物忌山ト号ス、本郡ノ極北ニ位シ、

由利郡ニ踏跨ス、其脈彙本郡ニ在リテハ、東ヲ女

郎倉、渦カ森トシ、西ヲ稻倉岳、笠カ岳トス、又西海

濱ニ至ルヲ、鬼草カ原ト曰フ、其前面ニ、扇森山伏

岳等峙テリ、白雲半腹ニ横ハリ、巔雪四時消セズ、

特ニ兩羽ニ宗タルノミナラズ、内國ニ於テ、高山

ノ第三等ニ居ル、其直立、八千尺ニ及マリ、頂上ニ、

大物忌神社、月山神社ノ祠有リ、平城帝御宇、吹浦

ニ遷座スト云、山ノ八分ニ池有リ、鳥ノ海ト名ク、

又雀間ノ池有リ、行者岳ハ、東南ニ有リ、南麓藥草

多シ、竹節人參、烏頭等ヲ出ス、又柚多シ、其巔ハ、御

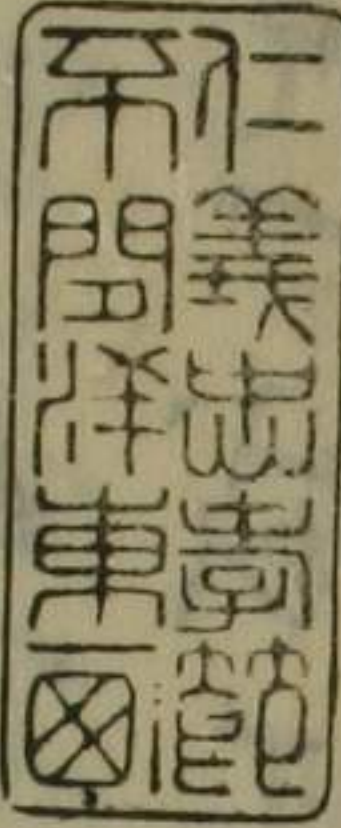
田原、御苗代、駒カ原、月山森、笠森、栗森等ノ古稱存

セリ

附言

本縣五郡大區一十小區一百タリ明治十一年十一月一日
 之ヲ廢レ郡劃ニ改正シ十一管トシテ十一ノ郡長ヲ置カル
 是ニ於テ談地誌ノ如キモ按訂ヲ加ヘサルヘカラス仍テ
 郡役所ノ位置等ヲ挿入シ漸次全管郡圖ヲ刊行シ以テ附
 セントス又各郡町村便覽ト題シ一小冊子ヲ附録シ町村
 合併改稱舊稱等ヲ詳記シ不日之ヲ發兌スヘシ苟モ闔縣
 ノ地理ニ意ヲ注クノ諸彦覽閱ヲ賜フノ餘暇其罅漏ヲ補
 助セラレシコトヲ希望ス

山形縣地誌提要下終



不朽勲

予凡去之属スル圖書
 可善ク花ニシニ此物ハ未
 小ニ僻在シテ字者ハ整歴
 毛物ナリト故ニヤ窮ニト
 シテ免ニ足モノ少ク常ニ
 志シ憾ナリトニ送ル井大田部氏

偶々予カ寓所ニ来リ此物ノ
 地徳程要ニ編ナリト示セリ
 聞テ之ヲ觀ルニ得如所
 ス殊ニリ文竹筒僅ニシテ
 ハ産後クニ宜キトヤラ
 ス事此物ノ如ク物及ニ任アハ

在ノハ蒙ニ坐右ニ置キ之ヲ
 勸シテ積チカウノ為下ノ地
 陸ヲ知リ其ノ益モ又少カラ
 井ルヘシトモ此物ノ儼有シ
 三字ヲ書クニ同ク贈ル印
 カ其ノ印ヲ寄ルル

明歴十二年一月辛卯

山形新田書院友

石栗信隆



